

マニュアル - TeamViewer 6.0



目次

1.1 TeamViewerについて	I	サービスの範囲
1.2 Version 6.0 での新機能 1 1.3 Mack よびLinux版の機能 2 1.4 本書について 2 2 インストール 3 2.1 TeamViewerのダウンロード 3 2.1.1 TeamViewerのダウンロード 3 2.1.2 TeamViewer 7ルパージョン 3 2.1.3 TeamViewer QuickSupport 3 2.1.4 TeamViewer Postale 4 2.1.5 TeamViewer Manager 4 2.1.6 TeamViewer Manager 4 2.1.7 TeamViewer Manager 4 2.1.7 TeamViewer Mole 4 2.1.7 TeamViewer Manager 4 2.1.7 TeamViewer Manager 4 2.1.7 TeamViewer Molowsシステムサービスの利遣点 7 2.3 アブリケーションとシステムサービスの利遣点 7 2.3.1 アブリケージーン 7 3 2.3 TeamViewer & Windowsシステムサービスの相違点 7 2.3.1 アブリケージー 5 7 2.3.2 TeamViewer & Windowsシステムサービスの相違点 7 2.3.3 アンリーン 10 3.4	I.I	TeamViewerについて
1.3 Mac お よ び Linux版の 機能 2 1.4 本書について	1.2	Version 6.o での新機能I
1.4 本書について	1.3	MacおよびLinux版の機能2
2 インストール 3 2.1 TeamViewerのダウンロード 3 2.1.1 TeamViewer $\partial x / \neg v = \partial x$ 3 2.1.2 TeamViewer QuickSupport: 3 2.1.3 TeamViewer QuickJoin 4 2.1.4 TeamViewer Host 4 2.1.5 TeamViewer Portable 4 2.1.6 TeamViewer Portable 4 2.1.7 TeamViewer MSI $(\neg v - v)$ 4 2.1.7 TeamViewer Molex 5 2.1 TeamViewer Molex 5 2.1 TeamViewer Molex 5 2.1 TeamViewer Molex 5 2.1 TeamViewer Mindows $\geq 2\pi + u + u = \sqrt{2}$ 7 2.3.1 $7 \neg v + v = 2 \geq 2 \times 2 + 4 + u + 2 \times 2 + 7 \oplus 2 \oplus 2 \oplus 2 \times 2 + 2 + u + u = \sqrt{2} \oplus 2 \oplus$	1.4	本書について2
2.1 TeamViewerのダウンロード	2	インストール
2.1.1 TeamViewer 7ルバージョン 3 2.1.2 TeamViewer QuickSupport: 3 2.1.3 TeamViewer Host 4 2.1.4 TeamViewer QuickJoin 4 2.1.5 TeamViewer Portable 4 2.1.6 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Mole 4 2.1.7 TeamViewer Mole 4 2.1.7 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Manager. 4 2.1.7 TeamViewer Molexs EnBit Eabst 5 a 5 3 2 2 7 2.3.1 アブリケーションとシステムサービスの和違点 7 2.3.2 TeamViewer & Windows > ステムサービスとして設定 7 2.3.2 TeamViewer > 4 センスの有効化 10 2.5 ライセンスの有効化 10 2.5 ライセンスの有効化 10 3.6 ジェンの有効化 10 3.7 TeamViewer > 4 センスの有効化 10 3.2 アロートゴントロール 12	2.1	TeamViewerのダウンロード
2.1.2 TeamViewer QuickSupport:	2.I.I	TeamViewerフルバージョン
2.1.3 TeamViewer Host	2.1.2	TeamViewer QuickSupport:
2.1.4 TeamViewer QuickJoin	2.1.3	TeamViewer Host4
2.1.5 TeamViewer Portable	2.1.4	TeamViewer QuickJoin
2.1.6 TeamViewer Manager	2.1.5	TeamViewer Portable4
2.1.7 TeamViewer MSIバッケージ 4 2.2 TeamViewerのインストール	2.1.6	TeamViewer Manager4
2.2 TeamViewerのインストール	2.1.7	TeamViewer MSIパッケージ4
2.3 TeamViewerをWindowsと同時に起動するよう設定 7 2.3.1 アプリケーションとシステムサービスの相違点 7 2.3.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定 7 2.4 ターミナルサーバーの操作 9 2.5 ライセンスの有効化 10 2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化 10 2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.1 TeamViewerライセンスの有効化 10 2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルウィンドウ 12 3.6 フレゼンテーション 12 3.2.1 リモートコントロール 12 3.2.2 プレゼンテーション 13 3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.3.1 QuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinの設定 15 3.4.1 QuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 <	2.2	TeamViewerのインストール5
2.3.I アプリケーションとシステムサービスの相違点 7 2.3.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定 7 2.4 ターミナルサーバーの操作 9 2.5 ライセンスの有効化 10 2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化 10 2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3.6 夏 基本 11 3.1 接続 11 3.2 アレゼンテーション 12 3.2.1 リモートコントロール 12 3.2.2 プレゼンテーション 13 3.3 QuickSupport メインウィンドウ 13 3.3 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinの設定 18 3.4.1 QuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロールウィンドウ 22	2.3	TeamViewerをWindowsと同時に起動するよう設定7
2.3.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定 7 2.4 ターミナルサーバーの操作 9 2.5 ライセンスの有効化 10 2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化 10 2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3 基本 11 3.1 接続 11 3.2 TeamViewerメインウィンドウ 12 3.2.1 リモートコントロール 12 3.2.2 プレゼンテーション 13 3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.4.1 QuickSupportの設定 15 3.4.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1.1 リモートコントロール 21 4.1.2 リモートコントロール 22 4.1.3 リモートコントロール 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 22	2.3.I	アプリケーションとシステムサービスの相違点7
2.4 ターミナルサーバーの操作 9 2.5 ライセンスの有効化 10 2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化 10 2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング 10 3 基本 11 3.1 技統 11 3.2 TeamViewerメインウィンドウ 12 3.2.1 リモートコントロール 12 3.2.2 ブレゼンテーション 13 3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.3.1 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 <	2.3.2	TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定7
2.5 ライセンスの有効化	2.4	ターミナルサーバーの操作9
2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化	2.5	ライセンスの有効化IO
2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング IO 3 基本 II 3.1 接続 II 3.2 TeamViewerメインウィンドウ I2 3.2.1 リモートコントロール I2 3.2.2 プレゼンテーション I3 3.3 QuickSupportメインウィンドウ I4 3.3.1 QuickSupportの設定 I4 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 I5 3.4 QuickJoinメインウィンドウ I8 3.4.1 QuickJoinの設定 I9 4 パートナントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 22	2.5.I	TeamViewerライセンスの有効化 10
3 基本 II 3.1 接続 II 3.2 TeamViewerメインウィンドウ I2 3.2.1 リモートコントロール I2 3.2.2 プレゼンテーション I3 3.3 QuickSupportメインウィンドウ I4 3.3.1 QuickSupport、インウィンドウ I4 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 I4 3.3.4 QuickJoin メインウィンドウ I8 3.4.1 QuickJoinの設定 I8 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 I9 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウ 22	2.5.2	ターミナルサーバーのライセンシング IO
3.I 接続	3	基本11
3.2 TeamViewerメインウィンドウ	3.I	接続
3.2.1 リモートコントロール 12 3.2.2 プレゼンテーション 13 3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.3.1 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinメインウィンドウ 18 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 22	3.2	TeamViewerメインウィンドウ12
3.2.2 プレゼンテーション 13 3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.3.1 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinメインウィンドウ 18 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.2.I	リモートコントロール
3.3 QuickSupportメインウィンドウ 14 3.3.1 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 DuickJoinメインウィンドウ 18 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.2.2	プレゼンテーション
3.3.1 QuickSupportの設定 14 3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinメインウィンドウ 18 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.3	QuickSupportメインウィンドウ14
3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定 15 3.4 QuickJoinメインウィンドウ 18 3.4.1 QuickJoinの設定 18 3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.3.I	QuickSupportの設定
3.4 QuickJoinメインウィンドウ	3.3.2	カストマイズできるQuickSupportの設定15
3.4.1 QuickJoinの設定	3.4	QuickJoinメインウィンドウ18
3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定 19 4 リモートコントロール 21 4.1 パートナーへの接続 21 4.1.1 リモートコントロールウィンドウ 22 4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.4.I	QuickJoinの設定
4 リモートコントロール 21 4.I パートナーへの接続 21 4.I.I リモートコントロールウィンドウ 22 4.I.2 リモートコントロールウィンドウでの操作 22 4.I.3 リモートコントロールウィンドウでの機能 28	3.4.2	カストマイズできるQuickJoinの設定19
 4.I パートナーへの接続	4	リモートコントロール
・ 4.I.I リモートコントロールウィンドウ	4.I	パートナーへの接続
4.I.2 リモートコントロールウィンドウでの操作22 4.I.3 リモートコントロールウィンドウでの機能	4.I.I	リモートコントロールウィンドウ
. 4.I.3 リモートコントロールウィンドウでの機能	4.I.2	リモートコントロールウィンドウでの操作22
	4.1.3	リモートコントロールウィンドウでの機能



4.2	ファイル転送	20
4.2.I	ファイル転送ウィンドウ	20
4.2.2	ファイル転送機能	30
4.2.3	ファイル転送イベントログ	31
		,
5	リモートコントロール - 高度な機能	32
5.1	Windows認証での接続	32
5.2	Web Connectorを介した接続	34
5.3	QuickConnectを介した接続	36
5.4	リモート更新	38
5.5	リモートシステム情報	38
5.6	アクセスコントロール	39
5.6.1	アクセスコントロールの概要	39
5.6.2	現在のセッションのアクセスモードの選択	40
5.6.3	アクセスコントロールの詳細	41
5.6.4	アクセスコントロールの詳細設定の概要	41
5.6.5	カスタム設定	43
5.6.6	アクセスコントロールとセキュリティ設定との間の相互依存性	43
5.7	接続情報	45
~		6
6	フレセンテーション	46
6.I		46
6.2	TeamViewerフルバーションでの接続	47
6.3	TeamViewer QuickJoinでの接続	48
6.4	ブラウザベースのブレゼンテーション	49
6.5	ブレゼンテーションパネルの操作	50
7	TeamViewerマイコンピュータリスト	56
7.1	TeamViewerアカウント	56
7.1.1	TeamViewerアカウントの作成	57
7.1.2	TeamViewerアカウントの管理	58
7.1.3	TeamViewerアカウントへのサインイン	59
7.2	マイコンピュータリストの操作	60
7.2.I	マイコンピュータリストのアイコン	62
7.2.2	マイコンピュータリストにグループおよびパートナーを追加	62
7.2.3	クイックアクセス	64
7.2.4	パートナーのコンテキストメニュー	65
7.2.5	パートナーチャットおよびオフラインメッセージ	65
7.2.6	チャットウィンドウの操作	66
7.2.7	TeamViewer OuickSupportによる接続前のチャット	67
,· <u>-</u> ·/		
8	マルチメディア機能	69
8.1	音声伝送	69



8.1.1	パートナーへの音声伝送の確立	69
8.1.2	音声オプション	
8.2	動画伝送	71
8.2.I	パートナーへの動画伝送の確立	71
8.2.2	動画オプション	71
8.3	チャット	73
8.4	電話会議	73
9	その他の機能	74
9.I	セッション記録	74
9.2	チャンネル使用	75
9.3	VPN接続	
9. 3 .1	TeamViewer VPNの使用例	
9.3.2	前提条件	
9.3.3	パートナーへの接続	
9.3.4	VPN - TeamViewerウィンドウの操作	
9.4	LAN接続	79
9.4.I	LAN接続の有効化	79
9.4.2	パートナーへの接続	79
10	オプション	80
10 10.1	オプション 全般カテゴリ	80
IO 10.1 10.1.1	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション	80 80
IO IO.I IO.I.I IO.I.2	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ	80 80 80
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ	80 80 80 81 82
IO 10.1 10.1.1 10.1.2 10.2 10.3	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ	80 80 81 82 82
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.I	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション	80 80 81 81 82 85 85
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.I IO.3.2	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ	80 80 81 82 85 85 85
IO IO .I IO .I.I IO .I.2 IO .2 IO .3 IO .3.1 IO .3.2 IO .3.2 IO .4	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ	80 80 81 82 82 85 85 87 88
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.1 IO.3.2 IO.4 IO.5	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ マイコンピュータリストカテゴリ	80 80 81 82 82 82 82 85 87 88 90
IO IO IO .I.I IO .I.2 IO .2 IO .3 IO .3.1 IO .3.2 IO .4 IO .5 IO .6	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ マイコンピュータリストカテゴリ 音声カテゴリ	80 80 81 82 85 85 85 87 88 90 92
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.1 IO.3.2 IO.4 IO.5 IO.6 IO.7	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ 音声カテゴリ 動画カテゴリ	80 80 80 81 82 82 82 82 82 82 82
IO IO IO .I.I IO .I.2 IO .2 IO .2 IO .3 IO .3.1 IO .3.2 IO .4 IO .5 IO .6 IO .7 IO .8	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ 音声カテゴリ 動画カテゴリ カスタム招待カテゴリ	80 80 81 82 85 85 85 87 87 87 90 92 92 93 94
IO IO IO .I IO .I.I IO .I.2 IO .2 IO .3 IO .3.1 IO .3.2 IO .4 IO .5 IO .6 IO .7 IO .8 IO .9	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ マイコンピュータリストカテゴリ 動画カテゴリ カスタム招待カテゴリ 詳細カテゴリ	80 80 80 81 82 85 85 85 85 85 87 90 92 93 94 95
IO IO.I IO.I IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.1 IO.3.2 IO.4 IO.5 IO.6 IO.7 IO.8 IO.9 IO.9.1	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション [プロキシ設定]ダイアログ セキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ マイコンピュータリストカテゴリ	80 80 80 81 82 82 82 85 87 87 87 90 92 92 93 94 95 98
IO IO IO IO IO IO IO IO IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 3 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 IO 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 5 1O 1O 5 1O 1O 5 1O 1O 5 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O 1O	オプション 全般カテゴリ 全般カテゴリのオプション	80 80 80 81 82 85 85 85 90 90 92 93 94 95 98 99
IO IO.I IO.I.I IO.I.2 IO.2 IO.3 IO.3.1 IO.3.2 IO.4 IO.5 IO.6 IO.7 IO.8 IO.7 IO.8 IO.9 IO.9.1 IO.9.2 IO.10	オプション 全般カテゴリのオプション (プロキシ設定)ダイアログ レキュリティカテゴリ リモートコントロールカテゴリ リモートコントロールカテゴリのオプション カスタム設定ダイアログ プレゼンテーションカテゴリ マイコンピュータリストカテゴリ	80 80 80 81 82 82 82 82 82



1 サービスの範囲

1.1 TeamViewerについて

TeamViewer は、PC リモートコントロールと共同作業のための簡単、高速、セキュアなアプ リケーションです。TeamViewer は以下のシナリオで使用することができます:

- 同僚、友人、顧客に簡単にリモートサポートを提供する。
- Windows サーバーおよびワークステーションを管理する。TeamViewer を Windows システムサービスとして設定し、Windows にログインする前にコンピュータに接続 できるようにすることができます。Mac OS X や Linux とのプラットフォーム間での 接続も可能です。
- オンラインプレゼンテーションやコラボレーションのためにデスクトップを共有できます。

TeamViewer は、特殊な設定の必要なしにファイアウォールバリアやプロキシを越えて通信できます。

1.2 Version 6.0 での新機能

TeamViewer QuickSupport:

- マイコンピュータリストとの繋がりが可能 カスタムの QuickSupport の作成中に、 自分ののマイコンピュータリストのデータも指定することができます。
- ユーザ定義の権利の放棄(免責)
- パスワードのセキュリティレベルを調整可能
- チャットメッセージの交換が可能

TeamViewer Host:

- 会社のロゴ、テキスト、およびユーザ定義の色で外観を調整可能。
- インストール時に Remote Access ウィザードをサポートガイドとして使用できます。
- TeamViewer Host を、トレイアイコンのコンテキストメニューからマイコンピュータ リストに直接追加することができます。



その他の新機能:

- TeamViewer QuickJoin: オンラインプレゼンテーションおよびミーティングを簡単に 参加するための新しいモジュール。
- チャットメッセージをコンピュータへの送信(TeamViewer ID)。
- TeamViewer 接続を、チャットウィンドウ内から直接行うことができます。
- リモート再起動およびアップデート後の自動再接続。
- TeamViewer オプションをパスワードで保護。
- 特に、社内ネットワークへの、および社内ネットワーク間での性能の向上と安定性の強化。
- ID のほかに、パートナー(TeamViewer アカウント)もブロックリストおよび許可リストに入力することができます。
- ブロックされた ID/パートナーのローカルの削除が可能です。
- 新しいユーザフレンドリなデザイン

1.3 MacおよびLinux版の機能

TeamViewer は、Mac OS X バージョン 10.4 以上ならびに Linux (Red Hat、Fedora、Suse、 Mandriva、Debian、および Ubuntu)もサポートしています。全般的に見て、Mac OS または Linux 版は Windows 版に対応していますが、一部の機能はまだ提供されていません。機能の 範囲を確認するために、トライアル版をご自由にお使いください。

1.4 本書について

本書では、TeamViewerの使い方を説明します。特に指定されない限り、ここに記載された 機能は常に、本書のタイトルで示された TeamViewer のバージョンを表しています。

Mac OS は Apple Inc.の登録商標です。Linux は Linux Foundation の登録商標です。

本書で使用する"Microsoft"および"Windows"という用語は、Microsoft Corporation の米国お よびその他の国での登録商標です。本書ではオペレーティングシステム Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® XP、 Microsoft® Windows® Vista、および Microsoft® Windows® 7 をまとめて"Windows"と呼ん でいます。



2 インストール

2.1 TeamViewerのダウンロード

2.1.1 TeamViewerフルバージョン

これは、完全版です。このモジュールで、パートナーに接続して遠隔操作を行うことも遠隔操作を受けることも可能です。



TeamViewer メインウィンドウ

2.1.2 TeamViewer QuickSupport:

これは、単一の実行可能ファイルの形をしたアプリケーションです。このアプリケーション はインストールなしで実行できるため、Windows または Mac OS 管理者権限は必要ありませ ん。

着信接続は受け付けることができますが、発信接続は開始できません。通常、顧客にはこの モジュールを提供します。

当社のウェブサイトで、自分の挨拶文とロゴ、さらにその他の便利な機能を持たせて設計で きる TeamViewer QuickSupport を個別に作成することができます (<u>3.3.1 QuickSupport の設定</u>を参照)。



QuickSupport メインウィンドウ



2.1.3 TeamViewer Host

このアプリケーションは、Windows システムサービスとしてインストールされます。 TeamViewer Host がインストールされているコンピュータを、起動後すぐに(Windows®ログ オン画面の前に)管理することができます。発信接続は行えません(TeamViewer Host は、 TeamViewer 完全版の機能の部分を提供します)。

通常、このモジュールはサーバー、つまり一般的に言うと、いつでもリモートで管理するこ とが必要な無人コンピュータにインストールします。

当社のウェブサイトで、ニーズに従って - 会社のロゴ、テキスト、ユーザ定義の色で TeamViewer Host の外観を調整することができます。これを行うには、 <u>https://www.teamviewer.com/download/customdesign.aspx</u>をご覧ください。

2.1.4 TeamViewer QuickJoin

TeamViewer QuickJoin は、オンラインプレゼンテーションやミーティングへの参加用に特に 開発された、独立した実行可能ファイルです。プレゼンタは、招待機能を使用して電子メー ルで参加者にセッションデータを送信することができます。参加者はこのモジュールでプレ ゼンタと接続されます。当社のウェブサイトで、ニーズに従って - 会社のロゴ、テキスト、 ユーザ定義の色で QuickJoin モジュールの外観を調整することができます (3.4.1 QuickJoin の設定を参照)。

2.1.5 TeamViewer Portable

TeamViewer Portable には、完全版の機能範囲が含まれています。ただし、TeamViewer Portable はインストールされず、USB スティックや CD などの任意のデータ記憶媒体から起 動します。設定についての詳細は、ダウンロードパッケージに記載されています。 TeamViewer Portable は、TeamViewer Premium および TeamViewer Corporate ライセンスに 入っています。

2.1.6 TeamViewer Manager

TeamViewer Manager は、すべての接続相手を管理するためのデータベースアプリケーショ ンです。また、たとえば、請求書の発行を目的としたセッション分析を行うための広範囲な 機能を提供します。TeamViewer Manager は、TeamViewer Premium および TeamViewer Corporate ライセンスに入っています。

2.1.7 TeamViewer MSIパッケージ

TeamViewer MSI は、TeamViewer 完全版および TeamViewer Host に代わるインストールフ ァイルです。アクティブディレクトリドメインで Group Policy Object (GPO)を使用して TeamViewer を配備するのに適しています。設定についての詳細は、ダウンロードパッケー ジに記載されています。TeamViewer MSI は、TeamViewer Corporate ライセンスに入ってい ます。



2.2 TeamViewerのインストール

ダウンドロードしたセットアップファイルを実行します。インストールウィザードがインス トールプロセスをガイドします。

1. TeamViewer へようこそ

インストールプロセスを続けるには、[次へ]をクリックします。([詳細オプションの 表示]チェックボックスが有効になっていない場合、手順5、6、7、8 はスキップされ ます。)

2. 環境

TeamViewer を商用環境(サポート、プレゼンテーション、ホームオフィス、業務補助、 同僚とのデスクトップの共有など)で使用するか、個人環境(友人や親戚との接続、ま たは自分自身のコンピュータとの接続など)に使用するかを選択します。どちらも当 てはまる場合は、オプション*[両方]*を有効にします。

3. ライセンス契約

ライセンス契約を読んで、同意する場合は[利用規約の条件に同意します]をチェック します。手順2で個人使用を選択した場合は、オプション[TeamViewer を商用目的で ない個人使用のみに使用することに同意します]でライセンス契約の範囲の選択を確 定します。[次へ]をクリックして続行します。

4. インストールの種類の選択

TeamViewerを必要に応じてWindowsスタートメニューで起動する場合は、[いいえ (ディフォルト)]を選択します。TeamViewerをシステムサービスとしてインストー ルする場合は、[/はい]を選択します。章2.3 TeamViewerをWindowsと同時に起動する よう設定に詳細があります。[/はい]を選択した場合、ウィザードに従ってTeamViewer をシステムサービスとしてセットアップできます。

5. アクセスコントロール(オプション)

[フルアクセス(推奨)」を選択した場合、接続相手がコンピュータにすぐにフルアクセスできます。[すべて確認]を選択した場合、ローカルコンピュータでのすべての TeamViewerアクションを確認する必要があります。詳細は、章<u>5.6 アクセスコントロ</u>ールを参照してください。

6. VPNアダプタのインストール(オプション)

TeamViewer VPNを使用したい場合は、*[TeamViewer VPNの使用]*チェックボックスを 有効にします。章9.3 VPN接続に詳細があります。

7. インストール場所の選択(オプション) インストール先のフォルダを選択し、*|次へ|*をクリックして続行します。



- 8. スタートメニューフォルダの選択(オプション) TeamViewer ホットキーの入るスタートメニューフォルダを選択します。*[終了]*をク リックしてインストールを開始します。
- 9. TeamViewer のインストールが完了します。

4 の注記: *[TeamViewer を自動的に Windows と同時に起動]*オプションは、オペレーティング システム Windows 98、NT、ME では使用できません。

6の注記: [TeamViewer VPN の使用]オプションは、Windows 2000 オペレーティングシステム以上でのみ使用可能です。

全般的な注記: Windows 管理者権限を持っている場合にのみ使用可能なオプションもあります。



2.3 TeamViewerをWindowsと同時に起動するよう設定

2.3.1 アプリケーションとシステムサービスの相違点

インストールプロセス中に、または後からオプションで、TeamViewer を Windows システム サービスとしてセットアップすることができます。本章では、通常のアプリケーションとし ての TeamViewer の実行と、Windows システムサービスとしての TeamViewer の実行との相 違点について述べます。

TeamViewer を Windows アプリケーションとして実行する場合:

- リモートサポートを行う、リモートサポートのお受ける、オンラインプレゼンテーションを開催する場合は、TeamViewerを手動で起動する必要があります。
- TeamViewer ウィンドウを閉じると、コンピュータは TeamViewer を介して接続できなくなります。
- デフォルトでは、TeamViewer は起動するたびに新しいセッションパスワードを作成 します(セキュリティ設定で、固定パスワードを設定することができます)。コンピュ ータには、自分の TeamViewer ID およびセッションパスワードを伝えている人物し か接続できません。パスワードは起動のたびに変更されるため、以前に PC に接続し ていた人は、新しいパスワードを伝えられるまで再接続することはできません。こ れによって、PC を永続的に制御されることがないようにします。
- これは標準モードです。ほとんどの場合に完璧に適しています。

TeamViewer を Windows システムサービスとしてインストールする場合:

- TeamViewer は、Windows セッション全体を通して実行されます。
- コンピュータは、Windows ログオン前でも TeamViewer を介して接続できます。
- コンピュータはオンの場合(およびスタンバイモードまたはアイドル状態でない場合)、
 常に接続できます。
- このモードは、サーバーのリモート保守などに最適です。この場合、相手先が有人である必要はありません。再起動し、再起動後に TeamViewer と再接続することもできます。

2.3.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定

TeamViewer が Windows システムサービスとして稼動するように設定する方法:

セットアップ時に TeamViewer が自動的に Windows ® と同時に起動するよう設定しなかった 場合、以下の手順に従って、後からいつでもこれを設定することができます。



- I. TeamViewer を起動します。
- 2. [その他]メニューで、*[オプション]*をクリックします。
- 3. (全般)カテゴリを選択します。
- TeamViewer の重要な操作プションで、[TeamViewer を Windows@と同時に起動]オプ ションを有効にします。

→ パスワード入力用のウィンドウが表示されます。

- 5. [パスワード]フィールドにセキュアなパスワードを入力して、確定します。
- 6. [OK]をクリックします。
- 7. / パーマネントアクセスを有効にする/ダイアログウィンドウで/OK/をクリックします。

注記: コンピュータを起動する代わりに、コンピュータ管理コンソールのサービススナップ インで TeamViewer システムサービスを手動で起動することもできます。

注記: TeamViewer サービスは常に、Windows 7 および Windows Vista で実行されます。この サービスを手動で停止しないでください! このサービスは、TeamViewer を Windows 7 およ び Windows Vista に最適化するのに使用されます。

注記: TeamViewer Host は常に Windows システムサービスとしてインストールされます。

注記: TeamViewer Hostは、トレイアイコンのコンテキストメニューからマイコンピュータリストに直接追加することができます(7. TeamViewerマイコンピュータリストも参照)。



2.4 ターミナルサーバーの操作

TeamViewer をターミナルサーバー上で運用する場合、すべてのユーザは TeamViewer に等 しくアクセスすることができます。ケースごとに個別の TeamViewer ID を割り当てること で、サーバー自体だけでなく、個々のすべてのユーザが独立して TeamViewer を使用できま す。これを実現するには、ターミナルサーバーにインストールした後で、以下の手順に従い ます。

ターミナルサーバーでのマルチユーザのサポートを有効にする方法:

- I. ターミナルサーバー(コンソール)で TeamViewer を起動します。
- 2. *[その他|オプション|*メニューをクリックします。
 - → [TeamViewer のオプション|ダイアログが開きます。
- 3. *[詳細]*オプションを選択して、[*詳細オプションを表示]*をクリックします。
- 4. オプション*[強化されたマルチユーザーサポート(ターミナルサーバ向け)]*を有効にし ます。
- 5. [OK]をクリックします。
 - → すべてのユーザが、TeamViewer の起動時に別々の TeamViewer ID を受け取りま す。

ログインした場所に応じて、TeamViewer メインウィンドウにユーザまたはサーバーの TeamViewer ID が表示されます。ユーザとしてログインした場合は、メニューの[ヘルプ/バ ージョン情報]をクリックするとサーバーID も表示されます。TeamViewer ID の詳細は、章 3. 基本に記載されています。

😋 About -	Team¥iewer	X
	Version: 6.0.10176	
	Date: Jan 25 2011 14:39:17	
	TeamViewer user ID: 28820	0
	TeamViewer server ID: 82577	2
License: Pr	emium (1 channel)	
channel us	2	
Active sess	ions: 0	
Copyright ((c) 2005-2011 TeamViewer GmbH	
	_	ок

[バージョン情報]ダイアログ のユーザ ID とサーバーID

注記: TeamViewerは、すべてのターミナルサーバーのユーザアカウントを独立したワークス テーションとして管理します。これは、ライセンシングにも適用されます (2.5.2 ターミナルサーバーの を参照)。



2.5 ライセンスの有効化

2.5.1 TeamViewerライセンスの有効化

個人ユーザは、TeamViewer の無料版を使用できます。商用使用の場合は、当社のオンライ ンショップ <u>http://www.teamviewer.com/licensing/index.aspx</u>でライセンスを購入し、ライセ ンスキーを使用して TeamViewer を有効にします。

TeamViewer ライセンスを有効にする方法:

- I. TeamViewer を起動します。
- 2. [その他|ライセンスを有効にする|をクリックします。
- 3. ライセンスコードを入力します。
- 4. /ライセンスを有効にする/をクリックします。
 - → これで、TeamViewer ライセンスが有効になります。

ライセンスを有効にする ×
最新ライセンス: Premium (15 チャンネル)
ライセンスコードを入力し、別のライセンスにアップグレードし てくだざい
ライセンスコード:
今すぐ購入 ライセンスを有効にする キャンセル

[ライセンスを有効にする]ウィンド ウ

注記: TeamViewer PremiumまたはCorporateライセンスを所有している場合は、アカウント にもライセンスを割り当てることができます(<u>7.1.1 TeamViewer アカウントの作成</u>を参照)。 これを行うことで、TeamViewer アカウントでマイコンピュータリストにログインすると同 時に、自分がライセンスを持っていないどのTeamViewerでも、ライセンスが有効になりま す。

2.5.2 ターミナルサーバーのライセンシング

TeamViewer はそれぞれのターミナルサーバーのユーザアカウントを独立したワークステー ションとして管理するため、それに従ってすべてのユーザがライセンスを持つ必要がありま す。したがって、インストール回数に制限のないライセンス(Premium または Corporate ラ イセンス)を有効にすることをお勧めします。このタイプのライセンスは、下記の手順に従 ってコンソールセッションでもユーザセッションでも有効にすることができます。ライセン スは、ターミナルサーバー自体だけでなく、すべてのユーザに対して自動的に使用可能にな ります。つまり、I 回有効化するだけですみます。必要な場合は、ユーザセッションでシン グルユーザライセンス(Business ライセンス)を有効にすれば、個々のユーザに別々のラ イセンスを発行することもできます。



3 基本

3.1 接続

電話と TeamViewer 接続を比較すると、電話番号が TeamViewer ID に相当します。

コンピュータは、一意の ID によって世界中で識別できます。この ID は、TeamViewer の最 初の起動時にハードウェア特性に基づいて自動的に生成され、後から変更されません。この ID は、コンピュータの IP アドレスとは完全に無関係です。

特に指定されない限り、本書では I 人の接続パートナーだけに対する接続について説明しま す。TeamViewer ライセンスを所有している場合、複数のパートナーへの接続が可能です (I:n)。セッションごとに同時に接続できるパートナーの数は、当社のウェブサイトの現在の ライセンスの概要に記載されています: <u>http://www.teamviewer.com/licensing/index.aspx</u>。

TeamViewer 接続はすべて暗号化され、第三者によるアクセスから保護されています。 TeamViewer での接続、セキュリティ、データ保護についての技術的な詳細は、当社のウェ ブサイトのセキュリティ保護方針に記載されています: http://www.teamviewer.com/products/security.aspx。



3.2 TeamViewerメインウィンドウ

TeamViewer のメインウィンドウは、**リモートコントロール**と**プレゼンテーション**に分割されています。

TeamViewer メインウィンドウ

🔁 TeamViewer	
	接続 その他 ヘルブ
リモートコントロール	プレゼンテーション
遠隔操作を受ける許可	リモートコンピュータの操作
遠隔操作を許可したい場合は、パート ナーに次のIDとパスワードを伝えてくださ い。	リモートコンピュータを操作するには、パー トナーのIDを入力してください。
使用中のID	パートナーID
123 456 789	· ·
パスワード 1234	 ● リモートコントロール ○ ファイル最近送 ○ VPN ● VPN ● VPN
無人アクセスのセットアップ	77 177 76 76675
●●● 接続準備完了(安全な接続)	אי-באנריד

3.2.1 リモートコントロール

[リモートコントロール]タブの特長は、次の2つのエリアです。

• 遠隔操作を受ける許可

このエリアには、TeamViewer ID とセッションパスワードが入っています。パートナ ーにこのデータを伝えると、パートナーがコンピュータに接続できます。(固定パス ワードを割り当てている場合は、この固定パスワードも使用できます。)[パスワード] フィールド内をクリックすると、セッションパスワードを変更、またはそれをクリ ップボードにコピー(Windows のコピー&ペースト機能)するためのメニューが呼び出 されます。また、固定パスワードを指定することもできます。リンク[無人アクセス のセットアップ]により、TeamViewer を Windows システムサービスとして起動し、 固定パスワードを割り当てるためのオプションが提供されます。これで、常に TeamViewer を介してコンピュータに接続することができます。

リモートコンピュータの操作

このセクションでは、接続を確立したい場合にパートナーの ID を入力します。さらに、複数の接続モードが使用可能です。

- リモートコントロール パートナーのコンピュータを操作したり、一緒に1台のパソコンで作業したりで きます(デスクトップの共有)。
- ファイル転送

パートナーのコンピュータとの間でファイルをやり取りすることができます。(発信リモートサポートセッション中にファイル転送を起動することもできます。)



• VPN

パートナーへのVPN接続を確立することができます。TeamViewer VPNがインス トールされていることが必要です。<u>9.3 VPN接続</u>も参照してください。

3.2.2 プレゼンテーション

[プレゼンテーション]タブは、次のように分割されています。

 プレゼンテーションを開催
 このセクションには、プレゼンテーションの参加者に転送する自分の ID と自分のパ スワードが入っています。パートナーからの接続があると同時に、[プレゼンテーションを開始]ボタンの下にその旨が表示されます。このボタンをクリックして、プレ ゼンタとしてプレゼンテーションを開始することができます。リンク[さらに参加者 を招待する...]により、自分の ID とパスワードの入った招待メールを参加者に送信す ることができます。

プレゼンテーションに参加

ここでは、プレゼンテーションに参加するためにパートナーの ID と自分の名前を入 力します。[プレゼンテーションに参加]をクリックします。 ダイアログウィンドウで、 パートナーのパスワードを入力することを求められます。

注記: リモートコントロールとプレゼンテーションでは、異なったパスワードが使用されま す。プレゼンテーション用の固定パスワードを保存できます (<u>10.4 プレゼンテーションカテゴリ</u>を参照)。



3.3 QuickSupportメインウィンドウ

TeamViewer QuickSupport は、実行可能ファイルの形をしたアプリケーションです。自分の ウェブサイトで、ダウンロード用の TeamViewer QuickSupport を提供できます。インストー ルも管理者権限も必要ありません。

😋 TeamViewer
TeamViewer QuickSupport
デスクトップに接続するには以下のIDをパートナー にお伝えください
使用中のD パスワード
 接続準備完了(安全な接続)
www.teamviewer.com キャンセル

QuickSupport メインウィンドウ

注記: ツールアイコンズの付いたボタンは、ダウンロード後に*[QuickSupportプロパティ]*ダ イアログを呼び出すために使用できます(<u>10.10 QuickSupportの設定</u>を参照)。

3.3.1 QuickSupportの設定

標準の QuickSupport を使用するほかに、I つ以上のカストマイズされた QuickSupport モジ ュールを作成することができます。これにより追加機能が提供され、例えばデザインの調整、 自分独自の免責事項の挿入や、マイコンピュータリストでパートナーを自動的に表示したり、 TeamViewer 接続の前にパートナーにチャットメッセージを送信できるようになります。

QuickSupport カスタマモジュールを設定する方法:

- I. 当社のウェブサイト: <u>https://www.teamviewer.com/download/customdesign.aspx</u>ご覧下 さい。
- 2. [QuickSupport]オプションとなるモジュールを選択します。
- 3. 後で QuickSupport を実行するオペレーティングシステムを選択します。
- TeamViewer のバージョンを選択します(旧バージョンのライセンスを持っている場合 に該当)。
- 5. ニーズに従って、プレビューイメージの下に各オプションを設定します。各オプシ ョンの詳細は、章<u>3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定</u>に記載されています。



- 6. [QuickSupport の作成をクリックします。
 - → QuickSupport モジュールのダウンロードリンクが、プレビューイメージの上に表示されます。
- リンク[TeamViewer QuickSupport 実行可能ファイルのダウンロード]をクリックして、 ファイルを保存します。これで、QuickSupport をパートナーに提供できます。

TeamViewer QuickSupport	個別に作成された QuickSupport モジュ ール
TeamViewer QuickSupport デスクトップに接続するには以下のIDを パートナに伝えてください。:	
使用中のID パスワード 登 123 456 789 9681	
 接続準備完了(安全な接続) www.teamviewer.com 	

注記: このウェブサイトで転送されるデータはすべて、セキュリティのために暗号化されて 転送されます(SSL プロトコル)。

注記: 調整された QuickSupport モジュールを制約なしに使用するには、TeamViewer ライセンスが必要です。ライセンスがない場合、接続は5分後に自動的に中止されます。

3.3.2 カストマイズできるQuickSupportの設定

前のセクションで説明したように、カストマイズできる QuickSupport モジュールを作成す ることができます。このために、当社のウェブサイトで以下のオプションが提供されていま す。

テキストの設定

- 言語 次の2つのフィールドのテキストの文例を、それぞれの言語で作成します。
- タイトル
 ウィンドウのタイトルの編集に使用されます。
- テキスト メインウィンドウの挨拶文の編集に使用されます。

ページ 15 of 101



表示の設定

- ロゴ
 メインウィンドウの最上部に表示される会社のロゴを選択できます。
- テキストの色

テキストの色の編集に使用されます。左側のフィールド内をクリックしてカラーパ レットを表示し、色を選択します。

背景色
 背景色の編集に使用されます。左側のフィールド内をクリックしてカラーパレット
 を表示し、色を選択します。

アクセスの設定

- ランダムパスワードの使用 このオプションが選択されている場合、QuickSupport モジュールが再起動されるたびに、接続を確立するためのパスワードが新規に生成されます。
 - パスワードのセキュリティレベル
 ランダムパスワードのセキュリティレベルの選択に使用されます。
 - ユーザを自動的にマイコンピュータリストに追加

このオプションが選択されている場合、QuickSupportのユーザがQuickSupportを 起動すると同時に、マイコンピュータリストに自動的に表示されます。この機能 を使用するには、TeamViewerアカウントのアクセスデータを対応するフィールド に入力します。マイコンピュータリスト内のこれらのユーザのグループ名を選択 します。このためには、既存のTeamViewerアカウントが必要です (7.1.1 TeamViewerアカウントの作成を参照)。

- ユーザによるチャットの開始が可能
 - この追加機能により、たとえばサポートケースを説明するために、 TeamViewer 接続の前でも QuickSupport を介してチャットメッセージを送信 するオプションがユーザに提供されます。この機能は、自分のマイコンピュ ータリストでオンラインになっている場合にだけ QuickSupport に表示されま す(ステータス: オンライン、取り込み中、または離席中)。パートナーは、こ れを行うために自分自身の TeamViewer アカウントは必要ありません。
- 固定パスワードの使用

または、QuickSupportの固定パスワードを割り当てることができます。 ただし、こ れには[*ランダムパスワードの使用*]オプションにある機能は含まれません。



起動時に免責事項を表示

ここに、自分独自の権利の放棄についてのテキスト(免責)を入力できます。免責事項 は、TeamViewer QuickSupportの起動前に表示されます。 ユーザはこれに同意しな いと、TeamViewer QuickSupport を実行できません。



3.4 QuickJoinメインウィンドウ

TeamViewer QuickJoin は特に、オンラインのプレゼンテーションやミーティングに適しています。プレゼンテーションの参加者は TeamViewer QuickJoin を起動して、プレゼンタの接続データを入力し、プレゼンタと接続します。複数の参加者が同時に、プレゼンテーションの開始前に、プレゼンタと接続することができます

T

(6.3 TeamViewer QuickJoin での接続も参照)。

TeamViewer	参加者は TeamViewer QuickJoin を介し プレゼンタと接続します
ブレゼンテーションに参加したい場合は、名前とブ レゼンタのIDを入力します。:	
パートナーD 名前	
参加 ● 接続準備完了(安全な接続)	
www.teamviewer.com 終了	

注記: TeamViewer QuickJoin を介した接続の場合、VoIP、Webcam、ホワイトボード、チャットなどの通常のすべての TeamViewer 機能がオンラインプレゼンテーションに使用可能です。

3.4.1 QuickJoinの設定

たとえば、テキスト、ロゴ、色を調整したり、ワンクリック接続を可能にするためにプレゼ ンタの接続データを永続的に保存するために、QuickJoin モジュールをカストマイズできま す。

QuickJoin カスタマモジュールを設定する方法:

- I. 当社のウェブサイト: <u>https://www.teamviewer.com/download/customdesign.aspx</u>ご覧下 さい。
- 2. [QuickJoin]オプションとなるモジュールを選択します。
- 3. 後で QuickJoin モジュールを実行するオペレーティングシステムを選択します(現在 は、Windows でのみ使用可能)。
- 4. TeamViewer のバージョンを選択します(バージョン 6 から使用可能)。



- 5. ニーズに従って、プレビューイメージの下に各オプションを設定します。 各オプションの詳細は、章 <u>3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定</u>.に記載されています。
- 6. [QuickJoin の作成をクリックします。
 - → QuickJoin モジュールのダウンロードリンクが、プレビューイメージの上に表示 されます。
- 7. リンク[*TeamViewer QuickJoin 実行ファイルのダウンロード*]をクリックして、ファイ ルを保存します。これで、QuickSupport がパートナーに使用可能となります。

注記: このウェブサイトで転送されるデータはすべて、セキュリティのために暗号化されて 転送されます(SSL プロトコル)。

注記: 調整された QuickJoin モジュールを制約なしに使用するには、TeamViewer ライセンスが必要です。ライセンスがない場合、接続は5分後に自動的に中止されます。

3.4.2 カストマイズできるQuickJoinの設定

前のセクションで説明したように、カストマイズできる QuickJoin モジュールを作成するこ とができます。このために、当社のウェブサイトで以下のオプションが提供されています。

テキストの設定

- **言語** 次の2つのフィールドのテキストの文例を、それぞれの言語で作成します。
- タイトル
 ウィンドウのタイトルの編集に使用されます。
- テキスト
 メインウィンドウの挨拶文の編集に使用されます。

表示の設定

▪ ロゴ

メインウィンドウの最上部に表示される自分独自のロゴを選択できます。

■ テキストの色

テキストの色の編集に使用されます。左側のフィールド内をクリックしてカラーパ レットを表示し、色を選択します。



▪ 背景色

背景色の編集に使用されます。左側のフィールド内をクリックしてカラーパレット を表示し、色を選択します。

アクセスの設定

• パートナーID

将来、プレゼンテーションの開始に使用する、選択したコンピュータの TeamViewer ID を QuickJoin に保存することができます。 この ID は後でパートナーID フィール ドに表示されますが、引き続き編集可能です。

パスワード

TeamViewer ID を入力する場合、一致するパスワードもここで定義することができま す。これにより、I 回クリックするだけで接続が行えます。ただし、TeamViewer 完 全版はデフォルトでは、リモートコントロールとプレゼンテーションに別々のパス ワードを保有しているため、ここでは必ずプレゼンテーションのパスワードを使用 してください。



4 リモートコントロール

4.1 パートナーへの接続

リモートコントロールモードでは、パートナーのコンピュータをリモートで操作できます。 本章では、2 つの TeamViewer 完全版の間、または TeamViewer 完全版と TeamViewer QuickSupport の間のリモートコントロールセッションをほんの少しの手順で確立する方法に ついて説明します。

他の接続方法ならびにリモートコントロールのその他の機能については、章 5. リモートコントロール - 高度な機能で説明します。

リモートコントロールのためにパートナーと接続する方法:

- I. TeamViewer を起動し、[リモートコントロール]タブをクリックします。
- 2. パートナーに TeamViewer または TeamViewer QuickSupport を起動するよう依頼しま す。
- 3. パートナーに TeamViewer ID とパスワードを要求します(重要事項: 完全版では、[*リ モートコントロール*/タブが選択されている必要があります)。
- 4. [リモートコンピュータの操作]エリアで、[リモートコントロール]モードを選択し、 [パートナーID]フィールドにパートナの ID を入力します。
- 5. パートナーに接続をクリックします。
 - → *[TeamViewer 認証]*ダイアログが開きます。
- 6. リモートコンピュータのパスワードを入力し、[ログオン]をクリックします。
 → パートナーのコンピュータに接続されます。



4.1.1 リモートコントロールウィンドウ

本章では、発信リモートコントロールセッション中に行えるアクションと使用可能なオプシ ョンについて説明します。リモートコントロールウィンドウで、パートナーのコンピュータ を、実機を操作するのと同じように操作することができます。キーボードとマウスを使用し て、パートナーのコンピュータを操作できます。



TeamViewer リモートウィン ドウ

4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作

リモートウィンドウのタイトルバーに、パートナーの名前また ID のどちらかが表示されま す。タイトルバーの下に、以下のアクションためのボタンの付いたツールバーが表示されま す。

×	接続終了
	現在の接続を終了します。
0	操作
	パートナーと役割を交代
	このボタンをクリックすると方向が変わり、パートナーから遠隔操作を受けるよう になります。
	Ctrl+Alt+De1
	このボタンをクリックすると、リモートコンピュータに Ctrl+Alt+Del コマンドが送 信されます。このボタンは、TeamViewer が Windows システムサービスとして稼動 している場合にだけ使用可能です。



コンピュータのロック
このボタンをクリックすると、リモートコンピュータをロックできます。
リモート再起動
ログオフ システムからログオフしたり、ユーザを切り替えたりできます。

 再起動 リモートコンピュータを再起動します。

セーフモードで再起動
 ネットワークドライバにより、セーフモードでリモートコンピュータを再起
 動します。

注記: リモートコンピュータが再起動されると同時に、ダイアログウィンドウが自動 的に表示されます。これで、接続を再確立できます。

キーコンビネーションの送信

有効になっている場合、キーの組み合わせ(Alt+Tab など)がリモートコンピュータに ダイレクトに送信され、ローカルでは実行されません。(ホットキー: スクロール)

リモート入力を無効にする

リモートコンピュータ上でのマウスおよびキーボード入力を無効にします。

ブラックスクリーンを表示

リモートコンピュータのモニターをブラックスクリーンにします。(最初に[リモート 入力を無効にする)機能が有効になっている場合にだけ使用可能です。)注意:確実性 の高いブラックスクリーンを保証するために、ワンタイムドライバインストールを 行うことができます。リモートコンピュータでの入力と表示を無効にしている場 合、 [ブラックスクリーンを表示]ダイアログが表示されます。ここで、[続行]ボタン をクリックして、ドライバをインストールすることができます。

注記: キーの組み合わせ Ctrl+Alt+Del を使用して、ローカルコンピュータでブラック スクリーンを無効にすることができます。



表示
画質
 自動選択 画質と速度を、使用可能な帯域幅に合わせて自動的に調整します。
 速度の最適化 接続速度を最適化します。この場合、画質は低下します・リモートコントロールに最適です。
 画質の最適化 画質を最適化します - プレゼンテーションに理想的です。
 カスタム設定 カスタム設定画質モードを有効にします。
 カスタム設定の編集 カスタム設定 画質モード用のさまざまな画質設定を行うための[カスタム設定]ダイアログを開きます。
拡大中
 オリジナル パートナーの画面が拡大されずに転送されます。リモート画面のほうが解像 度が高い場合は、スクロールバーでナビゲートできます。
 拡大 パートナーの画面のほうが解像度が高い場合、画面は縮小されます。
 全画面 両方の解像度が同じ場合は、この設定が一番適切です。
有効なモニター
 モニターnの表示 パートナーの個々のモニターを表示します。 すべてのモニターの表示 パートナーに複数のモニターがある場合、すべてのモニターを同時に表示で きます。



画面解像度

このメニュー項目を使用して、接続の間、リモートコンピュータの画面解像度を調 整することができます。リモートコンピュータのほうが解像度が低い場合は、デー タの転送量が少なくてすむため、パフォーマンスが向上します。

単一ウィンドウを選択

リモートマシン上で単一ウィンドウを選択できます。表示される十字カーソルを使 用し、目的のウィンドウをクリックします。

デスクトップ全体を表示

このボタンをクリックすると、リモートコンピュータのデスクトップ全体が再表示されます。

更新

自動更新機能が働かない場合に、強制的に画面を更新します。

壁紙の削除

このオプションを使用して、リモートコンピュータの壁紙を削除し、接続速度を上げることができます。

リモートカーソルを表示

このオプションを使用して、パートナーのカーソルを表示または非表示にすることができます。

音声/動画機能についての詳細は、章8.マルチメディア機能に記載されています。

- VoIP 音声送信用の追加のメニューを開きます。
- マイビデオ
 ウェブカメラ送信用の追加のメニューを開きます。
- チャット パートナーとの書き込みによるコミュニケーション用のチャットウインドウ を開きます。
- 電話会議
 電話会議の開始または電話会議への参加のオプションにより追加のメニュー
 を開きます。



ファイル転送 5 このメニュー項目は、ローカルコンピュータとリモートコンピュータ間でファイル 転送を行うための/ファイル転送/ダイアログを開きます(4.2 ファイル転送を参照)。 その他 -レコード このメニューオプションを使用して、リモートコントロールセッションを動画とし て記録することができます(g.I セッション記録を参照)。 起動 パートナーの画面の記録を開始します。 ■ 一時停止 パートナーの画面の記録を一時停止します。 停止 パートナーの画面の記録を停止します。 VPN TeamViewer VPN についての詳細は、章 9.3 VPN 接続に記載されています。 記動 VPN 接続を開始します。 停止 VPN 接続を停止します。 ステータス 仮想ネットワークの IP アドレスを表示できるステータスウィンドウを開き ます。 リモート更新 リモートコンピュータ上の TeamViewer の現在のバージョンのチェックを開始しま す(5.4 リモート更新を参照)。 システム情報... リモートコンピュータのシステム情報の入ったダイアログを開きます。 接続情報... *|接続情報|*ダイアログを開きます。



次のモニター
リモートコンピュータ上で複数のモニターがアクティブの場合、次のモニターのイ メージを表示します。(代わりに、[表示 有効なモニター]で目的のモニターを選択す るか、すべてのモニターを同時に表示することもできます。)
Ctrl+Alt+Del
このボタンをクリックすると、上記のキーの組み合わせを簡単に送信できます。こ のボタンは、リモートコンピュータがこのキーの組み合わせを要求すると同時に表 示されます(たとえば、コンピュータがロックされた場合など)。



4.1.3 リモートコントロールウィンドウでの機能

TeamViewer.com	リモートコントロールウィンドウ
★ ⑧ 機能 ▼	
* セッションリスト ×	
名無しの権兵衛 🛛 \leftrightarrow 👋 📲	

遠隔操作を受けるパートナー側で、小さいウィンドウ(リモートコントロールウィンドウ)に 複数のオプションが表示されます。

1000	
×	接続終了
	現在の接続を終了します。
٢	機能
	 VoIP 音声送信用の追加のメニューを開きます。
	 マイビデオ ウェブカメラ送信用の追加のメニューを開きます。
	 チャット パートナーとの書き込みによるコミュニケーション用のチャットウインド ウを開きます。
	 電話会議 電話会議の開始または電話会議への参加のオプションにより追加のメニューを開きます。(章<u>8. マルチメディア機能</u>を参照)
	 セッションリスト Xボタンをクリックして閉じたセッションリストが再表示されます。
\Leftrightarrow	パートナーと役割を交代
	今まで操作されていたパートナーが、相手のコンピュータの操作を引き継ぎま す。(接続の開始者がすでに方向を変更済みである場合にだけ使用可能です。)
× C	リモート入力を有効化
	リモート入力を無効化/無効化します。
*	追加オプション
	詳細な接続情報を表示するか(<u>5.7 接続情報</u> を参照)、この特定の接続を閉じること ができます。
	·



4.2 ファイル転送

リモートコンピュータにファイルを転送するには、発信リモートセッション中にローカルモ ニターからリモートコントロールウィンドウに目的のファイルをドラッグします(ドラッグ& ドロップ)。ファイルを受信したり、フォルダ構造内を簡単に移動するには、以下の章に従 ってください。

4.2.1 ファイル転送ウィンドウ

ファイル転送ウィンドウにより、パートナのコンピュータとの間でファイルの送受信が行えます。ファイル転送ウィンドウを開始するには、2つの方法があります。

- I. 接続を開始した時に、[リモートコントロール]タブで[ファイル転送]モードを選択します。
- 2. 発信リモートコントロールセッション中に、リモートコントロールウィンドウの[フ *ァイル転送陸*クリックします。

ーカルコンピュータ			リモートコンピュータ	
ドレス 🏭 C:\		•	7۴νλ C:\	•
2 🗙 🎩 🖥 🏠	送信	₽₽	₩ 受信	🏦 🛃 🍶 🗙 🥔
る前	ዛ ብズ 入力	*	名前	ታイズ 入力
4	Lokaler Datentr		<u>4.</u>	Lokaler Datentr
\$Recycle.Bin	Dateiordner		Documents and Settings	Dateiordner
Ablage	Dateiordner	Ξ	Dokumente und Einstellungen	Dateiordner
Arbeiten	Dateiordner		📗 Programme	Dateiordner :
b57acc545762a542ce2c969	Dateiordner		🌗 \$Recycle.Bin	Dateiordner
Documents and Settings	Dateiordner		Downloads	Dateiordner
Dokumente und Einstellungen	Dateiordner		Intel	Dateiordner
HP	Dateiordner		PerfLogs	Dateiordner
Intel	Dateiordner		Program Files	Dateiordner
MSOCache	Dateiordner		ProgramData	Dateiordner
PerfLogs	Dateiordner		Recovery	Dateiordner
Program Files	Dateiordner		System Volume Information	Dateiordner
Program Files (x86)	Dateiordner	Ŧ	Users	Dateiordner
	I		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•
フクエクトルの審択されました イル転送イベントログ 8:20:37: C:\ 8:20:37: 接続は正しく確立されました			3/2111111111111111111111111111111111111	

[ファイル転送]ダイアログにより、リモー トコンピュータとの間でファイルの送受 信が行えます。



4.2.2 ファイル転送機能

[ファイル転送]ダイアログでは、左側に自分のファイルシステム、右側にパートナーのファイルシステムが表示されます。以下のボタンを使用して、ファイル転送機能を使用します。

2	ファイルリストを更新 (ホットキー: F5) 現在のフォルダを更新します。
×	選択したオブジェクトの削除 (ホットキー: D) 選択されたファイルおよびフォルダを削除します。
•	新しいフォルダの作成 新しいフォルダを作成します。
80	親フォルダに移動 (ホットキー: バックスペース) 親フォルダへ移動します。
	ドライブに移動 (ホットキー: Ctrl+バックスペース) ドライブ表示に切り替えます。ここで、 <i>マイファイルやデスクトップ</i> などの特殊な Windows フォルダに接続することもできます。
	送信 (ホットキー: FII) 選択されたファイルおよびフォルダをリモートコンピュータに送信し ます。
41	受信 (ホットキー: FII) 選択されたファイルおよびフォルダをリモートコンピュータからロー カルコンピュータに転送します。
名前変更	ファイルまたはフォルダの名前を変更するには、選択済みの項目を I 回クリックして、名前を編集可能にします。



4.2.3 ファイル転送イベントログ

パートナー側で、すべてのファイルシステムの操作が[ファイル転送イベントログ]ウィンド ウでログされます。

ファイル転送イベントログウィンドウ

Contract TeamViewer - ファイル転送イベントログ
11:14:28 サーバーを正しく起動しました 11:14:28 MT-05 (509 509 509)からのファイル転送リクエストが許可されま 11:14:28 表示フォルダ くルートドライプ> 11:14:28 表示フォルダ C:/
ファイル転送を停止してください 最小化化(M)



5 リモートコントロール - 高度な機能

5.1 Windows認証での接続

ID とパスワードによる TeamViewer 認証の代わりに、ID とリモート Windows アカウントの ユーザ名およびパスワードを使用して接続を確立することもできます。

Windows 認証による接続の方法:

- I. TeamViewer を起動します。
- 2. パートナーに TeamViewer または TeamViewer QuickSupport を起動するよう依頼しま す。
- 3. パートナーに TeamViewer ID を要求します。
- 4. [リモートコントロール]タブで[リモートコントロール]接続モードを選択し、[リモー トコンピュータの操作]セクションの[ID]フィールドにパートナーの ID を入力します。 (Windows 認証は、他のすべての接続モードにも使用できます。)
- 5. パートナーに接続をクリックします。
 - → *[TeamViewer の認証]*ダイアログが開きます。
- 6. [詳細]をクリックします。
 - → ダイアログに詳細設定が表示されます。
- 7. ドロップダウンフィールドで、[Windows]を選択します。
- 8. Windows ユーザ名とパスワードを入力します。
- 9. [ログオン]をクリックします。
 - → パートナーのコンピュータに接続されます。

TeamViewer	D認証		詳細な認証 ダイアロク
\bigcirc	ログインするパソコンのWi	indows証明書を入力してください	[
	1211 1 :	Windows 💌	
	Windowsユーザ名:	example.com\administrator	
	Windowsパスワード:	•••••	
	<u>アクセスコントロール:</u>	マルアクセス・	
 詳細 		ログオン キャンセル	


注記: TeamViewer QuickSupport に接続する場合は常に、Windows ログインデータで接続を 確立できます。TeamViewer Host および TeamViewer フルバージョンでは、最初に*[セキュリ ティ]*タブの TeamViewer オプションメニューでこの機能を有効にする必要があります。

Windows ログインが強力なパスワードで安全に保護されていることを確認してください!



5.2 Web Connectorを介した接続

すでに TeamViewer アカウントを作成済みの場合は(7.1.1 TeamViewer アカウントの作成を参照)、ウェブブラウザを使用してパートナーと接続することができます。これは、ランダムなコンピュータからパートナに接続するための簡単なサポートに特に適しています。

Web Connector を介してパートナーに接続する方法:

- I. ウェブブラウザでウェブサイト<u>http://login.teamviewer.com</u>を呼び出します。
- 2. TeamViewer アカウントのユーザデータを入力し、*[サインイン]*をクリックします。
 - → Web Connectorのユーザインタフェースがロードされます。マイコンピュータリ ストが左側に表示されます。マイコンピュータリストの管理方法は、章 7.2 マイコンピュータリストの操作に詳しく述べられています。
- 3. パートナーに TeamViewer または TeamViewer QuickSupport を起動するよう依頼しま す。
- 4. パートナーに TeamViewer ID を要求します。
- 5. *[Establish quick connection]*セクションの*[TeamViewer ID]*フィールドに、パートナーの ID を入力します。
- 6. [Password]フィールドにパートナのパスワードを入力します。
- 7. [Connect]をクリックします。
 - → パートナーに接続されると同時に、ウィンドウの右側に接続ウィンドウが表示さ れます。



Web Connector はブラウザからダ イレクトに起動され、すぐに接続 を確立できる状態になります。



注記:Web Connector を使用するには、Adobe Flash をブラウザにインストールする必要があります。

注記: Web Connector では、リモートコントロールモードのみが使用可能です。より高度な機能は、TeamViewer ソフトウェアで提供されます。

注記: TeamViewer ソフトウェアが、管理したいコンピュータ上で起動していなければなりません。



5.3 QuickConnectを介した接続

QuickConnect 機能を使用して、マイコンピュータリスト内のパートナーに任意のアプリケーションウィンドウを簡単に公開したり、さらには特定のアプリケーションで共同作業を行うことができます。このために、すべてのアプリケーションウィンドウの上側に[クイック接続]ボタン (会)が表示されます。デフォルトでは、これはほとんどすべてのアプリケーションに有効ですが、必要に応じて無効にすることもできます。

[クイック接続]ボタンの使用方法:

- TeamViewerを起動し、TeamViewerアカウントにログインします(QuickConnectは、 TeamViewerアカウントにログインしている時にだけ機能します。 <u>7.I.I TeamViewerアカウントの作成</u>を参照してください)。
- 2. パートナーに公開したいアプリケーションを開きます。
- アプリケーションウィンドウのタイトルバーにある[クイック接続]ボタン (空)をクリックします。
- アプリケーションウィンドウを公開したいパートナーを選択します。個々のアプリケーションをパートナーも制御できるようにしたい場合は、[パートナーとのやりとりを許可]オプションを有効にします。
- パートナーからクイックアクセスを許可されている場合(7.2.3 クイックアクセスを参照)、パートナーは自分の同意が必要な接続の確立が試みられているというメッセージを受け取ります。パートナーからクイックアクセスを許可されていない場合は、パートナーのパスワードを入力する必要があります。
 - → 選択されたアプリケーションとそのすべての関連ウィンドウが、パートナーの画面に転送されます。デスクトップや他のアプリケーションは、パートナーに表示されません。



Google - Windows Internet Explorer		1	
🖸 🔹 谢 http://www.google.com/		パートナーを提択し、Teamileverでこのアフリケー シェンを表示する	P -
All Grounde		パートナーとのやりとりをはすす	
22 coode		▲ Webサーバ	
ウェブ 画像 動画 地図 ニュース	ショッピング メール もっと見る。	A SHLOWAR	クイン 豪
		COMMENTICAL	£
	Google 検索 Im Feeling Lucky 広告掲載 Google について の2011-プライバシー	していたい (1000) (

[クイック接続]ボタンをクリックす ると、接続可能なすべてのパート ナーが表示されます。

[クイック接続]ボタンは、必要に応じてすべてのアプリケーションに対して無効にしたり、 個々のアプリケーションに対してのみ無効にすることができます。それと同時に、ボタンの 位置も変更することができます。TeamViewerの[詳細]オプションに個々の設定があります (<u>10.9 詳細カテゴリ</u>を参照)。[クイック接続]ボタンは、ボタン自身によってダイレクトに無 効にすることもできます。

アプリケーションの[クイック接続]ボタンを無効にする方法:

- I. 開かれているアプリケーションの[クイック接続]ボタン ≤ をクリックし、メニューの下部にある/この機能を無効にする]を選択します。
 - → すべてのアプリケーションのボタン、またはこのアプリケーションのボタンだけ を無効化するオプションの入ったダイアログが表示されます。
- 2. 上記の選択に従って[クイック接続]ボタンを無効にするには、[はい]をクリックしま す。
 - → ボタンが無効になります。この設定は、TeamViewerの[詳細]オプションで取り消 すことができます(IO.9 詳細カテゴリを参照)。



5.4 リモート更新

リモート更新機能を使用して、リモートコンピュータ上の TeamViewer を更新することがで きます。この機能は、無人コンピュータ(サーバーなど)上の TeamViewer を更新するのに特 に便利です。

リモート側の TeamViewer が Windows と同時に自動起動するよう設定されていることが、 前提条件です。

リモート更新を実行する方法:

- I. 遠隔操作中にリモートコントロールウィンドウのツールバーで、[その他|リモート更 新をクリックします。
- 2. リモートコントロールウィンドウの指示に従います。

注記: リモート更新後に、必要に応じてリモートコンピュータと再接続することができます。

5.5 リモートシステム情報

この機能は、リモートコンピュータに関する情報を表示します。

6	リモートシステム情報	ŧ	×
	システム情報元		
	基本情報		
	パソコン名:	DEMO	
	ユーザー名:	DEMO	
	トメイン: 起動時間:	19.07.2011 07:53:21	
	ブロセッサ&メモリ		
	プロセッサ:	Pentium(R) Dual-Core CPU E6500 @ 2.93GHz	
	物理メモリー:	4 GiB	
	オペレーティングシステ	6	
	名前:	Microsoft Windows 7 Professional	
	バージョン:	6.1.7601	
	サーヒスバック:	Service Pack 1	
	デバイス		
	C:	232.79 GiB NTFS - 192.15 GiB 空き	
	ネットワークカード		
	名前:	Realtek PCIe GBE Family Controller	
	IPアドレス:	192.168.168.168	
	サブネットIP:	255.255.255.255	
	標準 ゲートウェイ:	192.168.168.168	
	带域幅:	100.00 Mbit/s	
	1		
			ОК

[リモートシステム情報]ダイアログ(テキストを選択 し、それをクリップボードにコピーできます)



5.6 アクセスコントロール

5.6.1 アクセスコントロールの概要

アクセスコントロールにより、接続が確立された後のセッション中にリモートコントロール 側の TeamViewer ユーザが実行するアクションを設定することができます。

(本章の内容はほとんどが、専門の IT サービスプロバイダを対象としたものです。対象グル ープに属さない場合は、章 <u>5.6 アクセスコントロール</u>全体をスキップすることができます。)

以下のアクセスモードが提供されます。

フルアクセス リエートロンパークはませい。

リモートコンピュータを直接操作できます。ファイル転送などのアクションも、す ぐに実行できます。

■ すべてを確認

パートナーがすべての TeamViewer アクションを確認する必要があります。そのため、 パートナーが確認してからでなければパートナのデスクトップを見ることができず、 さらに確認がなければリモートデスクトップの操作を引き継ぐことができません。

表示

パートナーによる確認後に、マウスでクリックして、リモートコンピュータに対す るリモート転送ポインタを表示することができます。この設定では、リモートコン トロールは行えません。

■ カスタム設定

自分独自のアクセス設定を個別に設定できます。

発信接続を許可しない
 このコンピュータからの発信接続を確立することはできません。

アクセスコントロール使用の例:

- アクセスをフレキシブルに制限することができます: 信頼できる関係を築いているカ スタマのリモートサポートを行ったり、自分自身のワークステーションにアクセス するには、フルアクセスを選択できます。機密性の高いカスタマの場合は、[すべての確認]モードに切り替えることができます。
- Windows 管理者が特殊なカスタム設定を行い、TeamViewer でそれをパスワードで保護します。サポート側が TeamViewer のすべてのオプションを使用することはできないコールセンターやサポートセンターでの使用に完璧です。

オプションメニューの[リモートコントロール]タブで、デフォルトのアクセスモードを設定 できます(<u>10.3 リモートコントロールカテゴリ</u>を参照)。TeamViewer インストール後のデフォ



ルト設定は、フルアクセスです。 接続の確立中に、標準モードとは異なった代わりのアク セスモードを選択できます。

5.6.2 現在のセッションのアクセスモードの選択

現在のリモートコントロールセッションのアクセスモードを選択する方法:

- I. [認証]ダイアログで、*[詳細]*の隣にある **≥**アイコンをクリックします。
- 2. アクセスコントロールパネルが拡張されて、さらにオプションが表示されます。
- 3. [アクセスコントロール]ドロップダウンリストからこの接続のモードを選択し、[ログ オン]をクリックして接続を確立します。

TeamViewer0	D認証	
\bigcirc	パートナのコンピュータに てください。	表示されているパスワードを入力し
	121 0 :	TeamViewer 💌
	パスワード:	
	<u>アクセスコントロール:</u>	すべての確認
		フルアクセス すべての確認
⊘ 詳細		あったからのようななないであった。

[認証]ウィンドウで、現在のセッションの アクセスモードを選択できます。

🖯 アクセス	の確認名無しの権兵衛
\bigcirc	画面を表示するためのアクセスをパートナー(こ許可しますか?
	画面の表示 ブロック(の) (6)

[すべてを確認]モードでは、パートナが確認した 場合にだけ、さらにアクションを実行することが できます。

オプションの[リモートコントロール]タブ で、アクセスコントロールのデフォルトモ ードを選択できます。

全般	他のパソコンのリモートコントロ・	ールオプション
セキュリティ	ディスプレイ	
	画質	自動画質選択
プレゼンテーション		为入夕厶殿定
マイコンピュータ	▼リモート壁紙の削除	
音声	□ パートナーのカーソルを表示	
動画	セッション記録中	
カスタム招待	□ リモートコントロールセッションを自動的	的に記録する
詳細	保存ディレクトリ	
	他のパソコンへのアクセスルール	
	アクセスコントロール	フルアクセス・
		詳細

注記: アクセスコントロールのオプションを選択しない場合、TeamViewerオプションで定義 されているデフォルト設定(<u>10.3 リモートコントロールカテゴリ</u>を参照)が使用されます。



5.6.3 アクセスコントロールの詳細

上記にリストされたアクセスモードでは、それぞれのケースごとに特定の設定の組み合わせ を選択します。本セクションでは、どの設定が定義されているか、およびそれが接続にどの ような意味を持つかについて説明します。

リモートコンピュータで自分がどのような権限を持っているかを知る方法

- I. 上記に説明されたように、アクセスモードを選択します。
- 2. *[アクセスコントロール]*をクリックします。
 - → [アクセスコントロールの詳細/ダイアログが開きます。

マクセスコントロールの詳細	×
フルアクセスを許可するための設定	
画面表示:	許可
リモートコントロール:	許可
ファイル転送:	許可
VPN接続:	許可
パートナーはローカル入力を無効にできます:	許可
パートナーはローカルTeamViewerをコントロールできま	許可
でん 役割の交代:	許可
	OK(<u>O</u>)

[アクセスコントロール]ウィンドウに、選択された モードの詳しい機能が表示されます。

5.6.4 アクセスコントロールの詳細設定の概要

以下の設定がアクセスコントロールで制御できます:

リモート画面表示

リモートコントロールセッションのリモート画面を直接表示するか、画面表示の要求を確認 した後でのみ表示するかを操作します。以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後

リモートコントロール

リモートコントロールが可能となる状況を設定します:以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後
- ブロック



ファイル転送

ファイル転送が可能となる状況を設定します:以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後
- ブロック

VPN 接続

リモートコントロールセッション中に VPN 接続を確立できるかどうかを決定します。以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後
- ブロック

リモート入力を無効にする

リモートコントロールセッション中にリモートコンピュータ側の入力を無効にできるかどう かを決定します。以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後
- ブロック
- セッション開始ごと

リモート TeamViewer のコントロール

リモートセッション中に、たとえば TeamViewer の設定を変更するためなどにリモート TeamViewer を制御できるかどうかを決定します。以下の可能性があります。

- 許可
- 確認後
- ブロック



パートナーと役割を交代

どのような状況で役割の変更が可能かを決定します:以下の可能性があります。

- 許可
- ブロック

5.6.5 カスタム設定

[フルアクセス]、[すべての確認]、[表示]モードは、ほとんどの用途に適切です。[カスタム設 定]モードでは、自分自身のアクセス権限を個別に設定できます。

5.6.6 アクセスコントロールとセキュリティ設定との間の相互依存性

発信アクセスコントロールでは、リモートコンピュータに接続した後に行える機能を自分で 決定するか、管理者がサポータに対してそれを定義します。

発信アクセスコントロールと同様に、オプションの*[セキュリティ]*タブでは着信アクセスコ ントロールを調整することができます。

応用例: TeamViewer を購入し、IT 関連の従業員に均一のリモートサポートソリューション を用意できます。クライアントが、ファイル転送やコンピュータのリモートコントロールな どのアクションを確認しなければならないよう、TeamViewer を設定できます。このため、 *[アクセスコントロール]を[すべての確認]*に設定します。

ローカルコンピュータとリモートコンピュータの間で設定が異なっている場合、衝突が発生 するのは言うまでもありません:たとえば、サポータが発信接続にフルアクセスを設定し、 接続パートナーが*[すべての確認]*を設定している場合、この 2 つは正反対の設定となります。 この衝突は、以下のようにして解決されます。

ローカルの発信アクセスコントロールの設定がリモートの着信アクセスコントロールの設定 と異なっている場合は常に、有効な最も低い権限が適用されます。

例:

- 発信アクセスコントロールに[フルアクセス]を選択していますが、接続パートナーは 着信接続に[すべての確認]を選択しています。その結果、すべてのアクションを最初 に確認する必要があります。
- 発信に[表示]を選択していますが、パートナーは着信アクセスモードに[フルアクセ ス]を選択しています。パートナーの画面でのみ表示が行えます。

設定が衝突する場合は、ダイアログで有効なアクセス権が通知されます。



TeamViewerのオプション		×
全般	このパソコンにアクセスするため	のオプション
セキュリティ	事前定義パスワード(無人アクセス用)	
リモートコントロール	パスワード	•••••
プレゼンテーション	パスワードの確認	•••••
マイコンピュータ		
音声	ランダムパスワード(自動アクセス用)	
動画	パスワードのセキュリティレベル	標準(4桁) 🔻
力スタム招待	このパソコンへの接続ルール	
詳細	Windowsログオン	禁止 ▼
	ブロックリストと許可リスト	設定
	アクセスコントロール	フルアクセス 👻
		三 羊糸田
		OK(0) (キャンセル(C)

オプションの[セキュリティ]タブ で、着信アクセスコントロールを決 定できます。

マクセスコントロールの詳細	×
フルアクセスを許可するための設定	
画面表示:	許可
リモートコントロール:	許可
ファイル転送:	許可
VPN接続:	確認後
パートナーはローカル入力を無効にできます:	許可
パートナーはローカルTeamViewerをコントロールできま せん	許可
	OK(O)

ローカルコンピュータの発信アクセスコントロ ールとリモートコンピュータの着信アクセスコ ントロールの間の不一致が、接続が確立された 後でウィンドウに表示されます。

注記: TeamViewer QuickSupport は、

簡単および直接的なサポート用に開発されたものです。TeamViewer QuickSupport に接続した場合は常に、ローカルコンピュータの設定が適用されます。



5.7 接続情報

*[接続情報]*ダイアログで、現在の接続データが通知されます。このダイアログは、リモート コントロールウインドウのツールバーで*[その他]*をクリックし、次に*[接続情報]*をクリックす ると開きます。

アクセスコントロール

[アクセスコントロール]エリアには、現在の接続のアクセス設定が表示されます。

情報

- 接続タイプ
 使用中の接続のタイプを表示します。
- 時間
 セッションの期間を表示します。
- トラフィック
 転送されたデータの量を表示します。
- ディスプレイ 画面解像度と色深度についての情報を表示します。
- パートナーのバージョン 接続パートナーが使用している TeamViewer のバージョンを表示します。

接続情報(名無しの権	兵衛)	X
アクセスコントロール		
画面表示:		許可
ファイル転送:		確認後
リモートコントロール:		確認後
VPN接続:		確認後
リモートTeamViewerのコン	/トロー	確認後
ル: リモート入力を無効にする	5:	確認後
役割の交代:		許可
"唐幸履		
接続タイプ:	UDP	
時間:	0:15	
トラフィック:	16 kB /	/ 109 kB
ディスプレイ:	1920×	1080×32bpp, Q=100
パートナーのバージョン:	6.0.10	511
		ОК

[接続情報]ダイアログには

現在のセッションについての情報が表示されま す。



6 プレゼンテーション

6.1 基本

プレゼンテーションモードでは、デスクトップがパートナーのコンピュータに転送されます。 TeamViewer 接続を確立するための複数のオプションがあります。

- オンラインプレゼンテーションを見たい参加者が複数いる場合は、TeamViewer QuickJoinの使用をお勧めします(<u>6.3 TeamViewer QuickJoinでの接続</u>を参照)。このア プリケーションは、簡単な方法で会社のカラーに合わせることもできます。
- パートナ側でTeamViewerソフトウェアを使用しないプレゼンテーションは、当社の ブラウザベースのソリューションを使用できます (6.4 ブラウザベースのプレゼンテーションを参照)。
- すべての参加者がすでにマイコンピュータリストに載っている場合、単一のアプリケーションのプレゼンテーションには[クイック接続]ボタンが最適です (<u>5.3 QuickConnectを介した接続</u>を参照)。

注記: リモートコントロールモードとプレゼンテーションモードでは、異なったパスワード が使用されます。TeamViewer の最初の起動中に、プレゼンテーション用にパスワードが生 成されます。このパスワードは、[プレゼンテーション]タブまたは[その他]オプション|プレ ゼンテーション]で[パスワード]を右クリックして後から変更することができます。

注記: TeamViewer ID とパスワードを電子メールなどでセッションの前に参加者に送信する ことができます。これを行うには、[プレゼンテーション]タブで[さらに参加者を招待する…] リンクをクリックします。

注記: セッションごとに同時に招待できる参加者の数は、ライセンスによって異なります。 現在のライセンスの概要は、当社のウェブサイ

ト: <u>http://www.teamviewer.com/licensing/index.aspx</u>に記載されています。



6.2 TeamViewerフルバージョンでの接続

ここでは、TeamViewer フルバージョンがすでに両方にインストールされている場合に、 プレゼンテーションを開始する方法についての情報があります。

プレゼンテーションのためにパートナーと接続する方法:

- I. TeamViewer を起動し、/プレゼンテーション/タブをクリックします。
- 2. パートナーに TeamViewer を起動し、[プレゼンテーション]タブをクリックするよう に依頼します。
- 3. パートナーに、[プレゼンテーションを開催]エリアに表示される自分の ID とパスワ ードを伝えます。
- パートナーに、パートナーIDと名前(自由に選択可能)を[プレゼンテーションに参加] エリアに入力し、[プレゼンテーションに参加]ボタンをクリックするように依頼しま す。

→ パートナー側で/TeamViewerの認証/ダイアログが開きます。

- 5. パートナーに、このダイアログにパスワードを入力して[*ログオン*]をクリックするように依頼します。
 - → 参加者側に、ダイアログ[プレゼンタがプレゼンテーションを開始するまでお待ち くださいが表示されます。
 - → プレゼンタ側の[プレゼンテーションを開始]ボタンの下に、待ち状態の参加者に 関する情報が表示されます。
- 6. [プレゼンテーションを開始をクリックします。
 - → パートナーのコンピュータに接続され、画面のプレゼンテーションを行います。



6.3 TeamViewer QuickJoinでの接続

TeamViewer QuickJoin は、プレゼンテーションの参加者が接続するために使用する簡単なモジュールです。パートナーに電子メールなどでこのモジュールを送信するか、ウェブサイトでダウンロードオプションとして提供します。

プレゼンテーションを行う回数が多い場合は、独自のコーポレートデザインで個別に QuickJoin モジュールを作成し、プレゼンテーションの ID とパスワードを保存することをお 勧めします。これにより、参加者がクリックするだけで接続できるようになります (<u>3.4.1 QuickJoin の設定</u>を参照)。

TeamViewer QuickJoin によるプレゼンテーション接続のセットアップを行う方法(参加者が 複数の場合の例):

- I. TeamViewer を起動し、*[プレゼンテーション]*タブをクリックします。
- 2. 参加者に TeamViewer QuickJoin を起動するよう依頼します。
- 3. 参加者に、 プレゼンテーションを開催エリアに表示される自分の ID とパスワードを 伝えます。
- 4. 参加者に、パートナーIDと名前(自由に選択可能)を入力して[参加]をクリックするよう依頼します。
 - → *[TeamViewer の認証]*ダイアログが参加者側に開きます。
- 5. 参加者に、このダイアログにパスワードを入力して[ログオン]をクリックすることを 依頼します。
 - → 参加者側に、ダイアログ[プレゼンタがプレゼンテーションを開始するまでお待ち ください]が表示されます。
 - → プレゼンタ側の[プレゼンテーションの開始]ボタンの下に、接続が確立された *待 ち状態の参加者*の数に関する情報が表示されます。
- 6. [プレゼンテーションの開始をクリックします。
 - → 参加者と接続され、画面が公開されます。



6.4 ブラウザベースのプレゼンテーション

ブラウザベースのプレゼンテーションにより、TeamViewer からどのような種類のウェブブ ラウザにもプレゼンテーションを行うことができます。パートナーがこのために、どのよう なソフトウェアも実行する必要はありません。

パートナーのウェブブラウザに対してプレゼンテーションを行う方法:

- I. TeamViewer を起動し、/プレゼンテーション/タブをクリックします。
- 2. パートナーに、パートナー自身のブラウザで以下のウェブサイトを開くように依頼 します: <u>http://go.teamviewer.com</u>
- 3. パートナーに、[プレゼンテーションを開催]エリアに表示される自分の ID とパスワ ードを伝えます。
- 4. パートナーに、ID とパスワードならびに名前をウェブサイトのそれぞれのフィール ドに入力し、*[Connect to partner]*をクリックすることを依頼します。
 - → 参加者側に、ダイアログ[Please wait until the presenter starts the presentation]が表示されます。
 - → プレゼンタ側の[プレゼンテーションの開始]ボタンの下に、待ち状態の参加者に 関する情報が表示されます。
- 5. [プレゼンテーションの開始]をクリックします。
 - → パートナーが接続され、パートナーのウェブブラウザにデスクトップが表示され ます。



パートナーは、自分のウェブブラウザ を介してプレゼンテーションに直接、 参加することができます。

注記: このタイプのプレゼンテーションを行うには、ウェブブラウザに Adobe Flash がイン ストールされている必要があります。



6.5 プレゼンテーションパネルの操作

プレゼンテーションを開始すると同時に、パネルが画面の右下隅に表示され、各種のアクションが提供されます。個々の機能(メニュー)をドラッグ&ドロップするだけで、自由に結合、 結合解除、移動することができます。ここに説明する機能の一部は、ブラウザベースのプレ ゼンテーションでは使用できません。

TeamViewer.com			
🗙 💿 機能 👻		\rightarrow	ツールバー
▶ セッションリスト	×		
▶ ローカルモニター	×		
▶ アブリケーションの選択	×		
▶ マイピデオ	×	\succ	メニュー
▶ VoIP	×		
▶ 電話会議	×		
▶ ホワイトボード	on ()= off 🗙		

プレゼンテーションパネル

ツールバーでは以下のアクションが提供されます:

×	すべての接続を閉じる
	すべてのパートナーとの接続を閉じます。個々の接続は、[セッションリスト]機 能で閉じることができます。
٢	機能
	X をクリックして閉じた個々の機能を、それぞれの名前をクリックして再表示す ることができます。
	すべての機能の完全なリストに加えて、以下の機能も表示されます。
	表示の一時停止(ホットキー: 一時停止)
	接続が一時停止され、パートナーに「フリーズした」画面が表示されます。その ため、プレゼンテーションの参加者に見られずに、デスクトップでタスクを行え ます。
	プレゼンテーションの再開(ホットキー: 一時停止)
	画面が再び、ブロードキャストライブに戻ります(このオプションは、その前に <i>[表示を一時停止]</i> をクリックした場合にだけ有効です)。



壁紙の削除 このオプションによりローカルコンピュータの壁紙が削除され、それによってパ フォーマンスの速度が上がります。 画質 ■ 自動選択 画質と速度を、使用可能な帯域幅に合わせて自動的に調整します。 速度の最適化 接続速度を最適化します。画質が低下しますが、低帯域での接続に理想的 です。 画質の最適化 画質を最適化します-プレゼンテーションに理想的です。 ■ カスタム設定 *[カスタム設定*画質モードを有効にします。 ■ カスタム設定の編集... 画質モード[カスタム設定]用のさまざまな画質設定を行うための[カスタム *設定|*ダイアログを開きます。 モニター *n*モニターを表示 選択されたモニターだけを公開できます。 すべてのモニターを表示 すべてのモニターを同時に公開できます。

機能セクションでは以下のオプションが提供されます:

	セッションリスト
	 オムビンションリスト ×
	名無しの権兵衛 🗰 🔲 🖓 マ目
	── メールでパートナーを招待
	セッションリスト機能
\Leftrightarrow	パートナーと役割を変更
	パートナーのデスクトップを見ることができるよう、表示方向を変更します。(ブ
	ラウザベースのプレゼンテーションでは使用できません。)
	ページ st of tot







 すべてのウィンドウを表示 デスクトップ上のすべてのウィンドウを表示します。 新しいウィンドウの表示 プレゼンテーション中に開くウィンドウだけを表示します。
注記: <i>[プレゼンテーション]</i> カテゴリの[オプション]メニューで、プレゼンテーションの開始時に、デフォルトですべてのアプリケーション/ウィンドウを有効にするかを選択できます(<u>10.4 プレゼンテーションカテゴリ</u> を参照)。
マイビデオ ここでは、ウェブカメラの設定を行うことができます(章 <u>8.2 動画伝送</u> を参照)。
<complex-block></complex-block>
VoIP この機能により、音声伝送(VoIP)を使用することができます(章 <u>8.1 音声伝送</u> を参 照)。
▼ Voice over IP × → ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
電話会議 すべての出席者の手元にヘッドセットがない場合は、代わりに電話会議を開始す ることもできます(章 <u>8.4 電話会議</u> を参照)。
1

TeamViewer - プレゼンテーシ

ョン

on ()= off

6

1

4

٢

▼ 報話会議 ×
場所: 場所を選択してください ▼
お電話<ださい 01805 009 320 (0,14 €/min)
会議PIN: 101418
電話会議機能
ホワイトボード
描画パレットを表示します。 描画パレットにあるツールを伸用して デスクトッ
プに何でも描画したり書き込むことができます。
T the off off X
\mathbb{R} / \mathbb{Z} \mathbb{R} \mathbb{Q} \mathbb{R} \mathbb{Q} Aa \mathbb{Q}
保存 削除
ホワイトボード機能
On/Off以前の描画をすべて表示/非表示にします。
コントロールモード
描画モードを一時停止して、コンピュータを通常通りに操作できるようにしま す。デスクトップ上で右クリックしても、同じことが行えます。
ペン
フリーハンドの描画ができるようになります。アイコンを右クリックして、ペン
の色とサイズを選択できます。
マーカー
テキストの強調表示に使用します。アイコンを右クリックして、ペンの色とサイ
ズを選択できます。
消しゴム
描画の一部を削除します。アイコンを右クリックして、ツールのサイズを選択で きます。
長方形
長古形を描画します。アイコンをナカリックして、コレートレ内側の存むとがに
、 アルを抽画しまり。 アイコンを石グリックして、 アレームというの色ならいに 線の幅を選択できます。正方形を描画するにけ、描画中に C_{trl} を押します。長方
形をセンタリングするには、Shiftを押します。正方形をセンタリングして描画す
るには、 <i>Ctrl</i> と <i>Shift</i> を同時に押します。



楕円

0

楕円を描画します。アイコンを右クリックして、フレームと内側の色ならびに線 の幅を選択できます。

円を描画するには、描画中に *Ctrl*を押します。楕円をセンタリングするには、 *Shift*を押します。円をセンタリングして描画するには、*Ctrl*と *Shift*を同時に押 します。

Aa テキスト

テキストを書き込みます。アイコンを右クリックして、フォントサイズ、色、タ イプを決定することができます。

🧟 | スピーチバルーン

吹き出しを描画します。吹き出しを作成したい場所をクリックし、コメントを書 き込んでからもう一度クリックし、吹き出しの方向を定決します。アイコンを右 クリックして、フォントサイズ、色、フォントを決定することができます。

チャット

チャットを介して、パートナーとメッセージを交換することができます。(この機能はデフォルトでは無効になっていて、[機能]メニューで有効にすることができます。)

▼ Chat	×
名無しの権兵衛(11:12):	
こんにちは	



7 TeamViewer マイコンピュータリスト

7.1 TeamViewerアカウント

TeamViewer マイコンピュータリストでは、接続パートナー(またはコンピュータ)を作成で きます。どのパートナー(コンピュータ)がオンライン状態であるかが一目でわかり、 TeamViewer によりマイコンピュータリストを介して直接接続することができます。これ以 外にも、TeamViewer はインスタントメッセージなどの便利な機能を提供します。

マイコンピュータリストは、離れた場所間での共同作業に理想的な方法です。

マイコンピュータリストにより以下の利点が提供されます:

- オンライン表示: どのパートナーがオンラインにいるか?
- ID 入力なしのすばやい接続
- パスワード入力なしの即時セッション
- 中央で管理される、世界中からアクセス可能なマイコンピュータリスト
- グループチャット、オフラインメッセージ、ブロックリストなどのインスタントメ ッセージング機能
- マイコンピュータリストで自分の可用性ステータスを選択可能-オフライン表示も含まれます。
- メモ機能などのパートナー管理





注記: マイコンピュータリストは、TeamViewer Manager データベースと同期化することができます。詳細については、TeamViewer Manager のマニュアルを参照してください。

7.1.1 TeamViewerアカウントの作成

マイコンピュータリストを使用するには、TeamViewer アカウントを作成する必要がありま す。マイコンピュータリストは特定のコンピュータではなく、このアカウントに関連付けら れています。つまり、どこにいても、自分の TeamViewer アカウントにサインインするだけ で、自分個人のマイコンピュータリストを使用することができます。

TeamViewer アカウントを作成する方法:

- マイコンピュータリストを表示するには、TeamViewerメインアプリケーションウィンドウの右下隅にある → ボタンをクリックします。
 - → マイコンピュータリストウィンドウが表示されます。
- 2. マイコンピュータリストの/登録/テキストリンクまたはボタンをクリックします。
 - → ウィザードが表示され、TeamViewer アカウントの作成を 2 つのステップでガイ ドします。
- 3. ダイアログウィンドウ[*TeamViewer アカウントの作成 ステップ 2 の I*]で、[ユーザ 名]、[電子メール]、および[パスワード]に必要なデータを入力します。
- 4. 2 つめのステップで、自分のコンピュータにリモートでアクセスできるよう、コンピ ュータの名前とアクセスパスワードを割り当てます。
 - → ウィザードで2つめのステップを確認すると、有効化リンクの入った電子メール を受け取ります。
- 5. 電子メールに入っているリンクをクリックして、電子メールアドレスを確認すると、 TeamViewer アカウントの作成が完了します。

後から電子メールアドレスやパスワードなどの変更を行いたい場合は、アカウント管理を使 用します。アカウント管理では、Premium または Corporate ライセンスをアカウントに割り 当てることもできます(章 <u>10.5 マイコンピュータリストカテゴリ</u>を参照)。



Sign Up - Tear	mViewer		
	Feam Viewe	t	English English TeamViewer Sign In back to TeamViewer.com
		sign in Sign	pp Porgot your login data? Privacy Policy
Create	a Team\/iewer.ac		
orcuter	a realititiener au		
Create your p account offer	personal TeamViewer accou rs the following advantages	int on this website. The TeamViewer	
* Create a T	eamViewer partner list and	add partners to this list. You will be	
	food the online status of you	ar partners (or computers).	
Lisemente		Receive enders Res designed encourses in the	Ouick Teamwork
Usemame:		Parase enter the desired username. The username must be at least 5 characters long.	Quick TeamWork With your TeamViewer becomes a fast and
Usemame: E-Mail:		Please enter the desired username. The username must be at least 5 characters long.	Quick Teamwork With you TeamVerer account TeamVerer becomes a fast and convenient solution for online colaboration.
Username: E-Mail: Confirm E-Mai	a. [Please enter the desired username. The username must be at Hast 5 characters long.	Quick Teamwork With you Team/lever account Team/lever becomes a fast and convenient solution for online collaboration.
Username: E-Mait Confirm E-Mai Password:	a.	Please enter the desired username. The username must be at Heart 5 characters long.	Ouick Teamwork With you TeamHeers account TeamHeers becomes a fast and conversest solution for online collaboration. For Windows and the browser
Usemame E-Mail Confirm E-Mail Password Confirm	a.	Presses enter the desared username. The username must be at head 5 characters long.	Oulck Teamwork With you TeamViewer account TeamViewer becomes a fast and comment staken for online cababuration. For Windows and the browser Wiscan use the optimer star. TeamViewer for Windows as well as in the
Username E-Mail: Confirm E-Mail Password: Confirm password:	it.	Pressa enter the desmit useriance. The orientime multiple at least 5 characters long.	Ouick Teamwork With you TeamVeree account TeamVeree becomes a fast and With you TeamVeree account TeamVeree becomes a fast and Comparison of the second team of t
Username E-Mail: Confirm E-Mail Password: Confirm password:	II.	Pagas entro the descend quantume. The versions multi-aid field 5 dispotentions of the standard stand	Ouick Teamwork With your Teamiferen account Teamiferen becomes a fast and convenent solution for online calaboration. For Windows and the Decover You can use the pather is the Teamiferen for Windows as well as in the web based Teamiferent.
Username: E-Mail: Confirm E-Mail Password: Confirm password: Picture:	II Subscribe to our free newsletter	Place which is described sectors. The description in other at least 1 Second to loss	Oulck Teamwork With you TeamViewer account TeamViewer becomes a fast and Comment Saluch for online Cabbourdata. For Windows and the browser Vor.cm.use the partner fast in TeamViewer far Windows as well as in the web-based TeamViewer.
Username: E-Mail: Confirm E-Mail Password: Confirm password: Picture:	at. IS Subscribe to our free newslettor QQ18	Plaas ette the desind quantums. The desiner motion of load E disponenting.	Ouick Teamwork With you TeamViewer account TeamViewer becomes a fast and constraints of one of collaboration. For Windows and the browser You can use the pattern is the TeamViewer for Windows as well as in the with based TeamViewer.
Username: E-Mait Confirm E-Mait Passoword: Confirm password: Picture: Type characte	a. I Subscribe to cur free newsletter ΩQ18 rrs	Plaas etrir the desmit dearmans. The contrainer most hard half 5 derivate long.	Quick Teamwork With your Team/evene account Team/iveer becomes a fast and convenent solution for online collaboration. Image: Convenent solution to online collaboration. Image

ウェブサイトを介した TeamViewer アカウントの作成

注記:または、当社のウェブサイトを介してTeamViewerアカウントを作成することもできま す。ウェブブラウザに、URL <u>http://login.teamviewer.com</u>を入力します。 ここでは、*[Sign up]*リンクによって新しいアカウントを作成できます。

注記: TeamViewer アカウントは、TeamViewer の使用には必要ありません!TeamViewer アカウントは、マイコンピュータリストおよびオンラインステータス情報の追加機能のためにだけ必要です。

7.1.2 TeamViewerアカウントの管理

TeamViewer アカウントの最も重要な設定を、ウェブブラウザを介して管理することもできます。また、TeamViewer で直接、TeamViewer アカウントを管理することもできます。詳細は章 10.5 マイコンピュータリストカテゴリをお読みください。

ウェブブラウザで TeamViewer アカウント管理を開く方法:

- I. ウェブブラウザでウェブサイト<u>http://login.teamviewer.com</u>を呼び出します。
- TeamViewer アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、 *[Sign in]*をクリックします。
 - → Web Connector のユーザインタフェースとマイコンピュータリストがロードされ ます。
- 3. [Edit Profile]をクリックします。
 - → アカウントの設定の入ったウィンドウが表示されます。



Jsername	名無しの 権兵衛 - <u>Delete account</u>
Displayname:	Enter the name your partners will be able to identify you during a connection.
Current license:	Free Activate license
E-Mail:	
	Change E-Mail address
Password:	Change Password
Only partner in my messages to me	list may see my online status and send
Local settings	

ウェブブラウザのアカウント管理は、 TeamViewer がインストールされていない場 合でも、どこからでもアクセスすることがで きます。

7.1.3 TeamViewerアカウントへのサインイン

TeamViewer アカウントを使用して、すべての TeamViewer にサインインできます (QuickSupport または TeamViewer Host は除く)。

TeamViewer アカウントにサインインする方法:

- マイコンピュータリストを表示するには、TeamViewerメインアプリケーションウィンドウの右下隅にある ➡ ボタンをクリックします。
- 2. フィールド/ユーザー名/と/パスワード/に、登録中に指定したデータを入力します。
- 3. *[サインイン]*をクリックします。
 - → サインイン状態となり、マイコンピュータリスト(最初のサインイン時は空です) が表示されます。



どの TeamViewer からでも自分のアカウントに 簡単にサインインできます。



TeamViewer アカウントからサインアウトする方法:

- マイコンピュータリストの上側のエリアで、表示名をクリックしてメニューを開き、 エントリ/サインアウト/を選択します。
 - → これで、サインアウトが完了しました。

注記: 外部(公開)コンピュータで、[保存する]機能と[パスワードの保存]機能を絶対に有効にしないでください。それとは別に、コンピュータの前を離れる時は常にサインアウトしてください。

注記: Premium または Corporate ライセンスを所有していて、アカウントに自分のライセン スも割り当てられている場合、このライセンスはログインしている間、ライセンスを持って いない TeamViewer にも有効です。



7.2 マイコンピュータリストの操作

	グループの追加
	新規グループを作成します。この機能は、クライアント、カスタマ、同僚、友
	人など任意の基準に従ってパートナーをグルーブ化するために使用できます。
2	パートナーの追加
	新規パートナーを作成します。
×	削除
	マークされたグループまたはパートナーを削除します。
2	パートナーのプロパティ
	パートナーの詳細情報を表示して変更するための[パートナーのプロパティ]ダイ アログを開きます。
->	リモートコントロール
	マークされたパートナーとの遠隔操作の接続を作成します。
0	検索
	検索フィールドに何らかの情報を入力すると同時に、マイコンピュータリスト のグループまたはパートナー(グループ名、アカウント名、または ID)を探しま
	す。
	アカウントメニュー
	マイコンピュータリストの上側のエリアで表示名をクリックして、可用性ステ ータスを選択するためのメニューを開きます。現在のステータスが、一致する 色で TeamViewer トレイアイコンに表示されます。
	以下から選択できます。 <i>オンライン</i> ²
	取り込み中国
	離席中国
	オフラインとして表示
	5 分以上何も動作が行われない場合、可用性は自動的に <i> 離席中 </i> に設定されます。
	また、 <i>[プロファイルの編集]</i> メニュー項目を使用して TeamViewer でアカウン ト管理を呼び出し、 <i>[サインアウト]</i> でアカウントからサインアウトすることがで きます。



7.2.1 マイコンピュータリストのアイコン

<u>R</u>	オンライン
	パートナーまたはコンピュータに TeamViewer でアクセスできること を示します。
2	取り込み中
	パートナーまたはコンピュータがオンライン状態ですが取り込み中で あることを示します。
2	離席中
	パートナーまたはコンピュータがオンライン状態ですが離席中である ことを示します。
	オフライン
	パートナーまたはコンピュータに現在、TeamViewer でアクセスでき ないことを示します。
▼ Test group	グループ
	マイコンピュータリストを簡単にうまく整理できます。

7.2.2 マイコンピュータリストにグループおよびパートナーを追加

新規グループを作成する方法:

- I. [グループの追加] ポタンをクリックします。
 - → [グループの追加|ダイアログが開きます。
- 2. [グループ名]フィールドにグループの名前を入力します。
- 3. [OK]をクリックします。
 - → 新規のグループが作成され、マイコンピュータリストに表示されます。

新規パートナーを作成する方法:

- I. 新規のパートナーを追加するグループをマークします。
- [パートナーの追加] ¹ ボタンをクリックします。
 → [パートナーの追加]ダイアログが開きます。
- 3. [パートナーのタイプ]オプションフィールドで、TeamViewer アカウントを追加するか TeamViewer ID を追加するかを指定します。

ページ 62 of 101



- 4. メニュー項目[グループ]で、パートナーを追加するグループを決定します。ドラッグ &ドロップまたはコンテキストメニューで、後からパートナーを新しいグループに割 り当てることができます。
- 5. [アカウント名]フィールドにパートナーのアカウント名を入力します。(コンピュータ を追加する場合は、[Team Viewer ID]フィールドにリモートコンピュータの ID を入力 します。)
- 6. マイコンピュータリストに表示されるエイリアスを[エイリアス]フィールドで割り当 てます。
- パートナーをパートナー自身のTeamViewerアカウントで追加した場合は、[クイック アクセスの許可]チェックボックスを有効にしてパートナーが簡略化された接続を確 立できるようにするオプションがあります(7.2.3 クイックアクセスを参照)。 TeamViewer IDでコンピュータを追加した場合は、このIDの固定パスワード - パスワ ードがわかっている場合 - を[パスワード]フィールドに保存するオプションがありま す。
- 8. [注記]フィールドに、このパートナーに関する何らかの情報を入力することができます。
- 9. *[OK]*をクリックします。
 - → 新規のパートナーが作成され、マイコンピュータリストに表示されます。

😋 パートナーの追加	×
入力:	ŀト(パートナー) ノコン)
アカウント名:	名無しの権兵衛
エイリアス:	名無しの権兵衛
グループ:	お客様 👻
パスワード:	
注:	
	*
	OK(0) キャンセル(C)

マイコンピュータリストで、 TeamViewer アカウントと TeamViewer ID を追加することがで きます。

注記: 当社のウェブサイトで個別に QuickSupport モジュールを作成する場合は、作成プロセス中に直接、マイコンピュータリストデータを入力することができます。カスタマが QuickSupport を起動すると、マイコンピュータリストに自動的にデータが表示され、I 回ク リックするだけで接続できます。



7.2.3 クイックアクセス

特に、共同作業ならびにリモートサポートやリモートプレゼンテーションの場合は、クイッ クアクセスが便利なオプションとなります。[パートナーのプロパティ]で[クイックアクセス の許可]チェックボックスを有効にすると、パートナーがパスワードを入力しなくてもよく なり、コンピュータへの接続をすぐに確立できます。

パートナーにクイックアクセスを許可する方法:

- I. マイコンピュータリストの個々のパートナーをマークします。
- コンテキストメニュー(パートナーを右クリック)から[プロパティ]を選択します。
 → [パートナーのプロパティ]ダイアログが開きます。
- 3. *[クイックアクセスの許可*チェックボックスを有効にします。
- 4. [OK]をクリックします。
 - → これで、パートナーがクイックアクセスを使用してコンピュータにアクセスできます。

クイックアクセスによるリモートサポート接続を確立する方法:

- I. マイコンピュータリストの個々のパートナーをマークします。
- コンテキストメニュー(パートナーを右クリック)から、[リモートコントロール(クイ ックアクセス)]または[プレゼンテーション(クイックアクセス)]を選択します。
 - → パートナーのデスクトップに、[リモートサポート(クイックアクセス)]ダイアログ がポップアップします。パートナーは[許可]をクリックしてアクセスを確定する ことができます。
 - → 接続が確立されます。

🔁 アクセス	の確認名無しの権兵衛
\bigcirc	画面を表示するためのアクセスをパートナーに話すしますか?
	画面の表示 ブロック(D) (3)

注記: クイックアクセスを許可されるのは、パートナーだけです。ID によって追加されたコンピュータの場合は、代わりに固定パスワードを保存できます。



7.2.4 パートナーのコンテキストメニュー

パートナーを右クリックすると、パートナーのコンテキストメニューにアクセスできます。 パートナーのタイプによっては(ユーザまたはコンピュータ、オンラインステータス、ブラ ウザベースのモジュール、TeamViewer のバージョン)、すべての機能が使用可能でない場合 があります。

コンテキストメニューでは、以下の機能が提供されます。

- メッセージを送信
 [チャット]ダイアログを開きます
 (7.2.5 パートナーチャットおよびオフラインメッセージを参照)。
- リモートコントロール(クイックアクセス)、プレゼンテーション(クイックアクセス) パートナーからクイックアクセスを許可されている場合、パスワードの入力なしで 接続を確立できます(7.2.3 クイックアクセスを参照)。
- リモートコントロール、プレゼンテーション、ファイル転送、VPN パートナーへの個別の接続を確立します。
- 削除
 マイコンピュータリストからパートナーを削除し、回復することはできません。
- 名前の変更
 パートナーの新しいエイリアスを入力できます。
- プロパティ [パートナーの追加]ダイアログと同じ機能のほかに、[パートナーのタイプ]オプションも提供する[パートナーのプロパティ]ダイアログを開きます (7.2.2 マイコンピュータリストにグループおよびパートナーを追加を参照)。

7.2.5 パートナーチャットおよびオフラインメッセージ

マイコンピュータリストのすべてのパートナーにインスタントメッセージを送信することが できます。パートナーが現在オンライン状態でない場合は、ログオンすると同時にメッセー ジを受け取ります。パートナーがオンライン状態の場合は、新規のチャットウィンドウです ぐにメッセージを受け取り、リアルタイムでメッセージを交換することができます。また、 グループチャットにさらにパートナーを招待することもできます。

パートナーにメッセージを送る方法とチャットセッションにさらにパートナを招待する方法:

I. 個々のパートナーのコンテキストメニューを開き(パートナーを右クリック)、[メッセ ージの送信/オプションを選択します。



→ *「チャット」*ダイアログが開きます。

- 2. ブラウザのテキストボックスにメッセージを書き込み、*[送信]*をクリックするかキー ボードの Enter キーを押します。
 - → メッセージが上側のフィールドに表示され、パートナーが現在 TeamViewer でオ ンライン状態であるかどうかに従って、すぐに送信されるか後から送信されます。
- 3. パートナーがオンライン状態である場合は、すぐにメッセージに応答できます。パ ートナーにさらにメッセージを送ることもできます。
- チャットセッションにさらにパートナーを招待するには、メニューの[招待]をクリックして目的のパートナーを選択します。また、デフォルトの招待文を変更することができます。[OK]をクリックして招待を送信します。
 - → 選択されたパートナーが招待メッセージを受け取ります。このパートナーがチャ ットに参加すると、現在のチャットダイアログに追加パートナーとして表示され、 会話に加わることができます。

😋 名無しの権兵衛, 高橋 - チャッ	٢	
プロパティ 招待 ブロック		
 チャットパートナー 品 名無しの権兵衛 品 高橋 	名無しの権兵衛(1423): こんにちは 高橋がチャットに参加しました 名供しの権兵衛(1428): こんにちは	送信

複数のチャットパートナーと接続している場合 は、ウィンドウの左側にパートナーが表示され ます。

注記:パートナーがオフラインの場合、途中でダイアログが閉じられても、パートナーは再 度サインインすると同時に送信されていたすべてのメッセージを受け取ります(グループチ ャットには適用されません)。

注記: 現在 TeamViewer にサインインしているパートナーだけを、既存のチャットに招待できます。

7.2.6 チャットウィンドウの操作

チャットウィンドウ内部から、[*接続*]ボタンを使用してパートナーのプロパティを表示したり、以下の操作を開始することができます。

- リモートコントロール(クイックアクセス)
- 表示(クイックアクセス)

ページ 66 of 101



- リモートコントロール
- プレゼンテーション
- ファイル転送
- VPN



TeamViewer 接続の開始に使用するチャ ットウィンドウ

チャットウィンドウで、チャットメッセージの受け取り手は、チャットを開始したパートナ ーがまだマイコンピュータリストに追加されていない場合、そのパートナーを自分のマイコ ンピュータリストに追加することができます。また、チャットを開始したパートナーをブロ ックリストに追加することもできます。ブロックされたパートナーは、I回のクリックでブ ロックリストから再度、削除することができます。

7.2.7 TeamViewer QuickSupportによる接続前のチャット

当社のウェブサイトでカスタマに TeamViewer QuickSupport カスタマモジュールを作成する 場合、マイコンピュータリストデータも指定することができます。[パートナーとのチャッ トを許可]も有効にすると、TeamViewer 接続が確立される前でも、カスタマがチャットダイ アログを使用してメッセージを送信することができます。章 <u>3.3.1 QuickSupport の設定</u>に、 この機能の有効化についての詳細が説明されています。



😋 TeamViewer QuickSupport 🗖 🔲 🔀
*
COMPANY NAME
TeamViewer QuickSupport
デスクトップに接続するには 以下のIDを パートナに伝えてください。:
使用中のID パスワード 営 123 456 789 9681
チャット
送信
 接続準備完了(安全な接続)
www.teamviewer.com キャンセル

チャットウィンドウが表示された QuickSupport カスタマモジュール

注記: マイコンピュータリストにサインインしていなかったか(オフライン)、[オフラインと して表示]をステータスとして選択した場合、カスタマの QuickSupport にチャットウィンド ウは表示されません。チャットウィンドウは、オンライン状態になると同時に QuickSupport で使用可能になります。


8 マルチメディア機能

8.1 音声伝送

8.1.1 パートナーへの音声伝送の確立

VoIP により、電話代を節約し、マウスを数回クリックするだけでパートナーと接触することができます。必要なのは、ヘッドセットまたはマイクとラウドスピーカだけです。

VoIP 接続を確立する方法:

- I. パートナーとの接続を確立後、TeamViewer メニューの[音声/動画]オプションで [VoIP]をクリックします。
 - → VoIP メニューが開いて点滅を始めます。

▼ Voice over IP	×
۹	_
<u>マイオーディオを今すぐ転送</u>	*

- 2. スピーカとマイクに目的のボリュームを設定します。
- 3. 伝送を開始するには、/マイオーディオを今すぐ転送する/をクリックします。
- 4. 伝送を再度終了するには、*「音声送信停止」*をクリックします。

注記: VoIP メニューを閉じても音声伝送は終了しません。

8.1.2 音声オプション

音声オプションを表示するには、VoIP メニューの右下にある = シンボルをクリックします。

	オーディオ再生とマー	の設定	
パキュリティ	香产再生オブション		
E-FOCHO-M	スピーカー	標準両生デバイス	•
イセンターション (コンピュータ	82	Ú 54-	+
i#	マイラのオブション		
西	219	標準録画デバイス	•
12.92.18% EMB	7126-516	Q Eta	->
	B 181.86 9 m C 41 54	MODOL BRB PODES APOCICEU	
	HXMIE	-0	
		OK(Q)	「キャンセル(C)

→ 音声オプションが開きます。

ページ 69 of 101



- スピーカー
 対応するラウドスピーカーを選択します。
- ・ 音量
 ラウドスピーカーを目的のボリュームに調整します。[再生]ボタンをクリックすると、
 ボリュームのチェックに使用する音が聞こえます。
- ミュート(スピーカー)
 ラウドスピーカの音を完全に消します。
- マイク
 対応するマイクを選択します。
- マイクレベル
 マイクの目的のボリュームを調整します。
- ミュート(マイク)
 マイクの音を完全に消します。
- ノイズ閾値
 どのようなバックグラウンドノイズでも削除することができます。

注記: [その他|オプション|音声]にも同じメニューがあります。



8.2 動画伝送

8.2.1 パートナーへの動画伝送の確立

パートナーに自分の音声だけでなく、映像も送りたい場合は、ウェブカメラで動画を伝送す ることができます。

パートナーへの動画伝送を確立する方法:

- パートナーに正常に接続した後で、ウィンドウの最上部にあるメニューバーの[音声/ 動画]メニューで[マイビデオ]をクリックします。
 - → ウェブカメラメニューがポップアップします。



- 2. ウェブカメラの共有を開始するには、/マイビデオを今すぐ転送をクリックします。
- 3. 伝送を終了するには、「動画伝送を停止する」をクリックします。

8.2.2 動画オプション

動画オプションで、カメラの設定を変更することができます。これを行うには、動画メニュ ーの右下隅にある ■ アイコンをクリックします。ここで、動画のサイズを指定できます。 [詳細]動画オプションを表示するには、*[動画設定]*を選択します。

→ 動画オプションメニューが開きます	す。
--------------------	----

全般	録画設定		
セキュリティ	から論定とプレビュー		
リモートコントロール	動面ソース	HP Webcam	•
フレゼンテーション		動画ド	1/1-缺定
マイコンピュータ	# #	自動產業選択	
台声		La sola rola z l	
ahiili		100	
力スタム招待			0
カスタム 経営得 日本編		HO	1
カスタム和37時 2年4日		-6-	9
カスタム827号 2954日		· Cr	9
カスカム#20時 2014年		- Co	

以下の設定があります。

TeamViewer 動画オプション



■ 動画ソース

デフォルトのウェブカメラを定義できます。

動画ドライバー設定 ウェブカメラに応じて、個々のモデルの詳細設定を調整できます。

▪ 画質

[自動画質選択] (画質と速度の間の最良の比率を自動的に決定)、[画質の最適化]、[速 度の最適化]の中から選択できます。

注記: [その他|オプション|動画]にも同じメニューがあります。



8.3 チャット

チャットウィンドウにより、アクティブセッション中(たとえば、リモートコントロールな ど)にパートナーとチャットすることができます。ツールバーの[音声|動画]メニューで、また はリモートコントロールウインドウの[機能]メニューでチャットをクリックして、チャット セッションを開始することができます。右下の▼■アイコンをクリックすると、チャットセ ッションをテキストファイルとして保存できます。

トウインドウ

▼ Chat ×	チャッ
客無しの権兵衛(11:12): こんにちは	
 送信 ~目	

8.4

電話会議

すべての出席者の手元にヘッドセットがない場合は、代わりに電話会議を開始することもで きます(章を参照)。ツールバーの[音声|動画|]メニューで[電話会議]をクリックして、または リモートコントロールウインドウの[機能]メニューで[電話会議]をクリックするだけです。 次に、国を選択し、その下に表示されるサービス番号にダイヤルします。電話パッドのキー から会議 PIN を入力するよう求められます。それぞれの PIN で電話会議に参加しているす べての参加者と、すぐに接続されます。

▼ 電話会議	×
場所:	場所を選択してください ▼
お電話ください	01805 009 320 (0,14 €/min)
会議PIN:	101418

電話会議機能



9 その他の機能

9.1 セッション記録

遠隔操作中に、リモートセッションをムービーとして記録するオプションがあります。記録 はTeamViewer 独自の.tvs ファイルフォーマットで行われます。このフォーマットは、ファ イルの変更を確実に防止すると同時に、改訂時に使用することもできます。

セッションを記録する方法:

- I. リモートコントロールウィンドウのメニューで[*その他|レコード|起動]*をクリックして、記録を開始します。
- 2. 記録を終了するには、[その他|レコード]停止]をクリックするか、TeamViewer セッションを終了します。
 - → ファイルの保存場所をたずねるウィンドウが表示されます。

記録されたセッションを再生する方法:

- I. TeamViewer アプリケーションウィンドウで、[その他]と[記録セッションの再生...]を クリックします。
 - → [ファイルを開く]ダイアログが表示されます。
- 2. 目的のファイルを選択します。
 - → ビデオクリップが TeamViewer で再生されます。

注記: Windows Explorer でファイルをダブルクリックして再生することもできます。 TeamViewer が自動的に起動され、記録されたセッションを再生します。

注記: すべてのセッションを記録したい場合は、オプション[その他|オプション|リモートコ ントロール|リモートコントロールセッションを自動的に記録]をご覧になってください。



9.2 チャンネル使用

複数のセッションチャンネルを持つ Premium (または Corporate)ライセンスを所有している 場合、このダイアログでライセンスのチャンネルの現在の使用状況の概要を知ることができ ます。このダイアログは、メニュー*[ヘルプ]バージョン情報|チャンネル使用]*にあります。

	C// 3/1#080*118	1
301301301	17:16:26	
407407407	16:28:54	
301301301	16:40:49	
407407407	16:51:06	
301301301	17:00:33	
407407407	17:00:24	

このダイアログには、どの ID で 現在セッションが行われているかが表示されます。



9.3 VPN接続

VPN オプションで、パートナーとの間に仮想プライベートネットワークを確立することが できます。VPN で接続された 2 台のコンピュータは、共通のネットワーク内にあります。 相手のコンピュータのネットワークリソースにアクセスしたり、パートナーがこちらのロー カルコンピュータのリソースにアクセスすることもできます。

9.3.1 TeamViewer VPNの使用例

- リモートコンピュータの共有プリンタでドキュメントを印刷することができます。
- リモートデータベースにアクセスする自分のマシン上で、リモートデータベースサ ーバーに VPN 接続することでアプリケーションをローカルに使用することができま す(ホームオフィスの場合など)。
- ローカルシステムの周辺装置(プリンタなど)とファイルに、外部パートナーがアクセスできるようにします。
- サポートの場合は、ローカルのフロントエンド(SQL Server Management Studio など) からリモートデータベースにアクセスします。

9.3.2 前提条件

TeamViewer VPN を使用するための前提条件は、TeamViewer がオプション[TeamViewer VPN の使用]で両方の側にインストールされていることです。

注記:パートナーPC のリモートコントロールやファイルの転送には、TeamViewer VPN は必要ありません。専門の IT 要員は、この接続の機能と長所がわかっています。

注記: TeamViewer VPN でリモート PC に接続する場合、両方のコンピュータが共通の仮想ネットワーク内にあります。両方のコンピュータのそれぞれの LAN 内にあるその他のコンピュータは、含まれません。

注記: VPNドライバを後からインストールすることもできます。TeamViewer自体のアンイン ストールまたは再インストールは必要ありません。<u>IO.9 詳細カテゴリ</u>を参照してください。



9.3.3 パートナーへの接続

本セクションでは、数回の簡単な手順で TeamViewer 間に VPN 接続を確立する方法につい て説明します(VPN は、TeamViewer QuickSupport にはサポートされていません)。

または、リモートコントロールセッション中にリモートコントロールウィンドウのツールバ 一項目*|その他陸クリックした後、*/*VPN*/と*|起動陸クリック*することもできます。

VPN 接続を確立する方法:

- I. TeamViewer を起動し、*[リモートコントロール]*タブをクリックします。
- 2. パートナーに TeamViewer を起動し、[リモートコントロール]タブをクリックすることを依頼します。
- 3. パートナーに、[遠隔操作を受ける許可]エリアに表示されるパートナー自身の TeamViewer ID とパスワードを要求します。
- 4. [リモートコンピュータの操作]エリアで、[VPN]オプションを選択し、[パートナーID] フィールドにパートナーの ID を入力します。
- 5. パートナーに接続をクリックします。
 - → [TeamViewer 認証]ダイアログが開きます。
- 6. リモートコンピュータのパスワードを入力し、/ログオン/をクリックします。
 - → パートナーのコンピュータに接続され、[VPN TeamViewer]ダイアログが表示されます。

9.3.4 VPN - TeamViewerウィンドウの操作

[VPN - TeamViewer]ウィンドウには、以下のオプションがあります。

- [有効な VPN 接続]ドロップダウンメニューで、複数の VPN 接続の場合に、ダイアロ グに表示される情報と実行できるアクションがどの接続に関するものであるかを定 義することができます。
- *「接続終了」*ボタンをクリックすると、選択した接続を終了できます。
- [ステータス]セクションで、自分の IP アドレスとパートナーの IP アドレスを確認で きます。
- [アクション]セクションで、次の2つのボタンを使用して VPN 接続をテストできます。

ページ 77 of 101



- [Explorer でファイルを共有」ボタンで、Windows Explorer を開いてリモートファイ ルにアクセスできます。(リモートコンピュータで自分自身を認証する必要ある場 合があります。)
- [ping のテスト]ボタンで、ネットワークのテストのための ping 信号を送信します。

J VPN - TeamViewer	
VPN接続により、パートナーのIPでパートナーに接続 のプログラムでパートナーにアクセスできる可能性があ	できます。TeamViewerのみではなく、すべて ります。
VPN接続の詳細は、http://www.teamviewer.com(こアクセスしてください。
有効なVPN接続: 鈴木花子	接続終了
ステータス	
VPNを実行中です	
IP:	5.191.113
パートナーのIP:	5.201.243
トラフィック:	13 kB / 11 kB
操作	
VPNの考えられる用途は2つあります。まず、Wir のPCなどのパートナーにアクセスできます。 テストpingは、接続の速度と安定性をテストする	dowsエクスプローラ経由でLAN内の他 5ために使用します。
エクスプローラでファイルを共有	pingのテスト
	最小化

[VPN TeamViewer]ダイアログ



9.4 LAN接続

9.4.1 LAN接続の有効化

ローカルネットワーク内の接続も、IP アドレス(またはコンピュータ名)で開始することができます。このためには、TeamViewer を着信 LAN 接続を受け付けるよう設定する必要があります。

着信 LAN 接続を有効化する方法:

- I. *[その他|オプション|全般]*メニューをクリックします。
- 2. 着信 LAN 接続に対して、ドロップダウンメニューからオプション / 同意 を選択します。

9.4.2 パートナーへの接続

本セクションでは、2 つの TeamViewer アプリケーション間に LAN 接続を確立する方法を簡 単な手順で説明します(TeamViewer QuickSupport は、この機能をサポートしていません)。

LAN 接続を確立する方法:

- I. TeamViewer を起動し、*[リモートコントロール]*タブをクリックします。
- 2. パートナーに TeamViewer を起動し、[*リモートコントロール*]タブをクリックすることを要求します。
- 3. パートナーに IP アドレスと TeamViewer パスワードを要求します。
- 目的の接続モード(リモートコントロール、ファイル転送、VPN)を選択し、パートナーの IP アドレスを[リモートコンピュータの操作]の[パートナーID]フィールドに入力します。
- 5. *[パートナーに接続]*をクリックします。
 - → *[TeamViewer 認証]*ダイアログが開きます。
- 6. リモートコンピュータのパスワードを入力し、/ログオン/をクリックします。
 - → パートナーのコンピュータに接続されます。

注記: 自分自身の LAN 内でのダイレクト接続という特殊な場合は、当社のサーバーは一切関係しません。そのため、公開鍵/秘密鍵交換なしの通常の対称型暗号化が使用されます。



10 オプション

10.1 全般カテゴリ

10.1.1 全般カテゴリのオプション

全般カテゴリには、最もよく使用される設定が含まれています。

TeamViewer を使用するための重要なオプション:

■ 表示名

自分(会社)の名前をここに入力します。このテキストは、リモートコントロールウィ ンドウのタイトルバーとパートナー側のチャットウィンドウに表示されます。 TeamViewer アカウントにサインインしている間は、自分のアカウントの表示名が代 わりに使用されます。

 Windows と同時に TeamViewer を起動 TeamViewer が、Windows の起動直後および Windows のログオン前に実行されるよう、Windows と同時に自動的に起動します。

トレイメニューを終了

プログラム終了後、TeamViewer をシステムトレイ(タスクバーの情報エリア)に最小 化します。TeamViewer はその後、システムトレイのアイコンを右クリックしてシャ ットダウンできます。

ネットワーク設定:

 プロキシ設定
 [設定]により、[プロキシ設定]ダイアログが開きます(IO.I.2 [プロキシ設定]ダイアログ を参照)。

ローカルネットワークでの接続(IP アドレス使用):

- 着信 LAN 接続が無効
 LAN 接続は行えません。
- 着信LAN接続 同意 着信LAN接続をポート 5938 で受け付けます(<u>9.4 LAN接続</u>を参照)。
- 着信 LAN 接続 同意のみ コンピュータは TeamViewer ネットワークへの接続を確立せず、IP アドレスを介し てのみ使用できます。



4.48		
全殿	よく使うオフション	
セキュリティ	① 追加情報を閲覧するには、マウスス	オーバーしてください
リモートコントロール	TeamViewerの重要な操作オプション	
プレゼンテーション	表示名	
マイコンピュータ	TeamViewerアカウントに接続している間	別は、代わりに <u>アカウント表示名</u> が使用されます
音声	Windowsと同時(TeamViewerを起	b
動画	■ トレイメニューを終了	
カスタム招待	ネットワーク設定	
≣¥ém	プロキシ設定	設定
879W	ローカルネットワークでの探技(TPアドレス体)	()
	X18LANIXIX	3Fアジナイノ1に消め ・

全般カテゴリでは、最も基本的な設定オ プションが提供されます。

10.1.2 [プロキシ設定]ダイアログ

ほとんどの場合は、デフォルト設定(ウェブブラウザのプロキシ設定を使用)で十分です。ブ ラウザでプロキシ設定を設定していない場合などに、カスタム設定を使用できます。

プロキシなし

インターネットにダイレクトに接続されている場合に、この設定を使用します。

• ブラウザのプロキシ設定を使用

(推奨)

プロキシサーバーが接続されていて、ブラウザ(Internet Explorer や Firefox など)です でにプロキシ設定が設定済みの場合に、この設定を使用します。

■ 手動プロキシの使用

プロキシサーバーのデータを手動で入力する場合に、この設定を使用します。

🖯 プロキシ設定	×
 フロキシなし ブラウザのフロキシ! 手動プロキシの使り 	設定を使用く推奨) 用:
プロキシIP:	ポート: -1
ユーザー名: パスワード:	
	認証が不要な場合は、ユーザー名とパスワード を空欄のままにしてください
	ОК ++>>セル

[プロキシ設定]ダイアログで、プロキシサーバー を使用している場合のインターネットへのアク セスを設定できます..



10.2 セキュリティカテゴリ

このカテゴリでは、すべてのセキュリティ関連の設定を変更できます。

固定パスワード (無人アクセス用)

パスワード

[パスワード]フィールドにパスワードを入力すると、コンピュータへのアクセス用に 自動的に生成されるセッションパスワードの代わりとして使用することができます。

Windows ログオン:

このドロップダウンメニューで、リモートユーザが TeamViewer パスワードの代わりに Windows 証明書を使用して、ローカルコンピュータに接続できるかどうかを決定できます。

- 禁止
 デフォルト設定。認証は TeamViewer パスワードでのみ可能です。
- 管理者のみ許可
 Windows 管理者のみ管理者証明書で接続できます。
- すべてのユーザーで許可
 コンピュータのすべてのユーザーが、Windows 認証ルーチンで接続できます。

ランダムパスワードのセキュリティレベル:

アプリケーションの起動のたびに再生成される、自動生成パスワードのセキュリティ度(複 雑度)を選択します。

- 標準(4桁) パスワードは4桁で構成されます。
- 安全 (6 文字)
 パスワードは 6 文字で構成されます。
- セキュア(8文字)
 パスワードは8文字で構成されます。
- 非常に安全 (Io 文字)
 パスワードは IO 文字で構成されます。
- 無効化
 TeamViewer はセッションパスワードを生成しません。

注記: セッションパスワードを無効にしていて、[*全般*]カテゴリで固定パスワードを定義していない場合、コンピュータに接続することはできません。注記: [Windows と同時に



TeamViewer を起動]オプションを有効にしている場合、セッションパスワードは自動的に最低でも*[セキュア (6 文字)*]に設定されます。

注記: [Windows ログオン]オプションを有効にしている場合、 コンピュータのセキュリティ は、このコンピュータのすべての Windows ユーザの Windows パスワードのセキュリティレ ベル(複雑度)に直接、依存します。

Windows ログインが強力なパスワードで安全に保護されていることを確認してください!

このパソコンへの接続ルール:

ブロックリストと許可リスト

[ブロックリストと許可リスト]ダイアログを開きます。このダイアログで、ローカル コンピュータへのアクセスを許可されている ID(許可リスト)、またはローカルコンピ ュータへのアクセスを拒否されている ID(ブロックリスト)を明示的に保存できます。

□ ブロックリストと許可リスト □ ズロックリストと許可りスト
● 次のIDとパートナに対するアクセスを拒否
◎ ン次のIDとパートナだけにアクセスを許可
新しい項目:
拒否リストのIDとパートナ:
ОК ++>+21/

[ブロックリストと許可リスト]ダイアログ

注記: ブロックリストと許可リストを設定している場合、自分自身をロックアウトする恐れ があります!リモートコンピュータを交換する必要がある場合、新しいコンピュータは新し い ID を受け取ります。必要に応じてコンピュータにローカルアクセスできる場合にだけこ の機能を使用するか、常に許可リストに複数の ID/パートナー(TeamViewer アカウント)を入 力してください。



アクセスコントロール

フルアクセス

このオプションでは、接続パートナーがローカルコンピュータのすべての機能にすぐにアクセスできます。

• すべての確認

接続パートナーは、最初はコンピュータのデスクトップを見ることしかできません。 それ以降のアクションには同意が必要です。

■ 表示

接続パートナーはデスクトップを見ることができますが、操作することはできません。

■ カスタム設定

[設定…]ボタンにより、個々の設定を定義し、それによって各機能を完全に無効にしたり、確認後に許可したり、セッションの最初から許可することができます。

許可されている着信接続はありません 着信接続は行えません。

(詳細は、章5.6 アクセスコントロールに記載されています。)

般	このパソコンにアクセスするた	このパソコンにアクセスするためのオプション	
2キュリティ	固定なパスワード(無人アクセスのため	固定なパスワード(無人アクセスのためのパスワード)	
モートコントロール	パスワード	••••••	
ルゼンテーション	パスワードの確認	•••••	
?イコンピュータ			
音声	自動アクセスのパスワードのセキュリティ	イレベル	
助画	パスワードのセキュリティレベル	標準(4桁)	
コスタム招待	このパソコンへの接続ルール		
羊糸田	Windowsログオン	禁止	
	ブロックリストと許可リスト	設定	
	アクセスコントロール	フルアクセス	
	L		

[セキュリティ]カテゴリでは、すべて のセキュリティ関連の設定を変更で きます。



10.3 リモートコントロールカテゴリ

10.3.1 リモートコントロールカテゴリのオプション

*リモートコントロール*カテゴリでは、TeamViewer のリモートコントロールセッションの設 定が提供されます。このダイアログの設定は、これ以降のすべてのリモートサポートセッシ ョンに影響を及ぼします。

ディスプレイ:

- **画質** ここでは、以下から選択できます。
 - 自動画質選択
 - 画質の最適化
 - 速度の最適化

(デフォルト設定-使用可能な帯域幅に従って、最上の速度を実現することが試みられます。)

カスタム設定

[カスタム設定]を選択すると、[カスタム設定...]ボタンが有効になります。このボ タンは、[カスタム設定]ダイアログを開きます(IO.3.2 カスタム設定ダイアログを 参照)。

リモート壁紙の削除

セッション中にリモートのデスクトップの背景を削除します。

パートナーのカーソルを表示
 パートナーのマウスカーソルの動きをデスクトップに表示します。

セッション記録:

リモートコントロールセッションを自動的に記録する
 セッションの開始時に、セッションの記録が自動的に開始されます。記録を保存するディレクトリを指定できます。

他のパソコンへのアクセスルール:

アクセスコントロール

パートナーのコンピュータへの自分のアクセスレベルを設定することができます。

フルアクセス
 このオプションでは、リモートコンピュータのすべての機能にすぐにアクセスできます。

ページ 85 of 101



• すべての確認

最初はリモートコンピュータのデスクトップを見ることしかできません。その後のアクションは、接続されたパートナーの同意が必要です。

表示

リモートコンピュータのデスクトップを見ることはできますが、操作することはできません。

• カスタム設定

[設定…]ボタンにより、個々の設定を定義し、それによって各機能を完全に無効に したり、確認後に許可したり、セッションの最初から許可することができます。

発信接続を許可しない
 発信接続は行えません。

🤤 TeamViewerのオプション		X	
全般	他のパソコンのリモートコントロ	他のパソコンのリモートコントロールオプション	
セキュリティ	ディスプレイ		
リモートコントロール	画質	自動画質選択	
プレゼンテーション		カスタム設定	
マイコンピュータ	▼リモート壁紙の削除		
音声	1.パートナーのカーソルを表示		
動画	セッション記録中		
力スタム招待	リモートコントロールセッションを自動 保存ディレクトリ	助的に記録する	
≣¥\$⊞			
	他のパソコンへのアクセスルール		
	アクセスコントロール	フルアクセス詳細	
		OK(0) (*****#11.(C))	

[リモートコントロール]カテゴリで は、画質、セッションの記録、他の コンピュータへのアクセスに関する すべての設定を行うことができま

アクセスコントロールの詳細	×
このダイアログでは、操作ごとにアクセス権を編集できま	ਰ
画面表示:	[許可] ▼
リモートコントロール:	許可 👻
ファイル転送:	許可 👻
VPN接続:	許可 🔹
パートナーはローカル入力を無効にできます:	許可 🔹
パートナーはローカルTeamViewerをコントロールできま せん	許可
	< * #>>セル

[アクセスコントロールの詳細]ダイアログでは、 カスタム設定モードの詳細設定を行うことがで きます。



10.3.2 カスタム設定ダイアログ

カスタム設定ダイアログは、表示設定の画質ドロップダウンメニューで[カスタム設定]を選択し、[カスタム設定...]ボタンをクリックした場合にだけ使用できます。ここでは、カスタム設定を指定できます。

▪ 色

目的の色深度を設定できます。色が多くなるほど、必要な帯域幅が多くなります。 色深度を減らすことで、パフォーマンスを高めることができます。

- 画質
 画質を設定できます。色モード[高]または[True カラー]を使用している場合にスライ
 ダーを左に動かすと、不可逆圧縮が使用されてデータ量が最小化されます。
- アプリケーションの互換性を高めます
 旧バージョンの Windows アプリケーションとの互換性を高めます(その代わり、パフ オーマンスは低下します)。
- Aero Glass の無効にする

Windows Vista/Windows 7 リモートコンピュータで Aero Glass を無効化し、パフォー マンスを高めます。

S カス!	タム設定			— X	-
色:			- Q		
	グレースケール	256	高	Trueカラー	
画質:				0	
	最高速度			最高画質	
 アブ! しま? Aero 	リケーションの互換。 す) o Glassを無効にする	性を高めます る	け(パフォーマン	えは低下	
			ОК	キャンセル	J

I[カスタム設定]ダイアログで、 画質オプションを設定することができます。



10.4 プレゼンテーションカテゴリ

[プレゼンテーション]カテゴリでは、TeamViewer プレゼンテーションモードの設定が提供されます。このダイアログの設定は、すべてのプレゼンテーションセッションに影響を及ぼします。

ディスプレイ:

• 画質

ここでは、以下から選択できます。

- 自動画質選択
- 画質の最適化
 デフォルト設定・可能な限り最上の画質を実現することが試みられます。
- 速度の最適化
- カスタム設定

[カスタム設定]を選択すると、[カスタム設定…]ボタンが有効になります。このボ タンは、[カステム設定]ダイアログを開きます(IO.3.2 カスタム設定ダイアログ)を 参照。

壁紙の削除

セッション中にローカルコンピュータの壁紙を削除します。

プレゼンテーション接続ルール

- プレゼンテーションを許可する
 このオプションでは、プレゼンテーションを全般的に禁止することができます。
- 方向の変更を許可
 有効になっている場合、プレゼンテーション中に方向を切り替えて、リモートコン
 ピュータを見ることができます。
- パートナーとのやりとりを許可
 有効になっている場合、プレゼンテーション中にリモートコンピュータでの入力を
 有効にすることができます。接続されているパートナーが、プレゼンテーションマシンを操作できるようになります。
- TeamViewer 5 プレゼンテーションモードを使用 有効になっている場合、TeamViewer バージョン 5 と同一の TeamViewer セッション が確立されます。つまり、プレゼンタは、たとえば TeamViewer メインウィンドウの



[プレゼンテーション]タブに参加者を追加することで、TeamViewer 接続を確立できます。

- プレゼンテーションパスワード
 ここでは、これ以降にプレゼンテーションに適用されるプレゼンテーションパスワードを定義します。パスワードは、いつでも再変更することができます。
- 初期オプション
 - 起動時に画面全体を表示
 TeamViewer プレゼンテーションの開始時に、デスクトップ全体を表示します。
 - アプリケーションの選択を使用して、セッション中はウィンドウのブロックを解除する

アプリケーション選択でプレゼンテーション中に有効化したアプリケーション/ ウィンドウだけが転送されます(<u>6.5 プレゼンテーションパネルの操作</u>を参照)。

TeamViewerのオプション		X
全般	このパソコンの表示のオプション	
セキュリティ	ティスプレイ	
リモートコントロール	画質	画質の最適化
プレゼンテーション		カスタム設定
マイコンピュータ		
音声	☑ 盤紙の削除	
動画	ブレゼンテーション接続ルール	
カスタム相谷奇 詳細	✓ フレゼンテーションを許可する ✓ 方向の変更を許可 ✓ 方向の変更を許可 ✓ パートナーとのやりとりを許可 「TeamViewer 5プレゼンテーションモードを行	使用
	プレゼンテーションパスワード 初期オプション ④ 起動時に画面全体を表示 ◎ アプリケーションの選択を使用して、セッ ロックを解除する	1234 ジョン中はウインドーのブロックをウインドーのブ
		OK(0) (キャンセル(0)

[プレゼンテーション]カテゴリでは、 プレゼンテーション接続のためのす べての規則を定義できます。



10.5 マイコンピュータリストカテゴリ

このカテゴリで TeamViewer アカウントを管理して、マイコンピュータリストにいくつかの 追加設定を行うことができます。

ローカル設定

- 別のグループのオフラインコンピュータ すべてのオフラインパートナーを I つのグループにまとめます。
- 着信メッセージの通知を受ける
 パートナーからメッセージを受け取った時に、ショートメッセージで通知します。
- パートナーのサインイン時に通知を受ける
 パートナーが自分の TeamViewer アカウントにサインインした時に通知します。
- スタートアップ時にマイコンピュータリストを表示
 TeamViewerの起動時に、メイン画面の他にパートナリストを表示します。

アカウント設定

- ディスプレイ名
 セッション中にパートナーを識別するための名前を入力します。
- メール
 電子メールアドレスを変更する場合は、このフィールドを編集します。
- 新しいパスワード TeamViewer アカウントのパスワードを変更する場合は、このフィールドを編集します。
- 有効なライセンス

Premium または Corporate ライセンスを所有している場合、自分の TeamViewer アカ ウントにそれを割り当てることができます。これを行うには、リンク[ライセンスを 有効にする]をクリックしてライセンスキーを入力してください。次に、[ライセンス を有効にする]をクリックします。これ以降、このライセンスはサインインすると適 用されます。ライセンスを持っていない TeamViewer を使用する場合でも適用されま す。

 リスト内のパートナーのみがオンラインステータスを確認したり、メッセージを送 信できます

このオプションが有効になっている場合、リスト内のパートナーに対してだけ*オン ライン*として表示されます。同時に、このパートナーだけがメッセージを送信できます。

ページ 90 of 101



- アカウントのブロックリスト 設定…
 ここでは、他のユーザのユーザ名をブロックリストに入れることができます。ユー ザ名を追加すると、このユーザに対してオンラインとして表示されなくなり、この ユーザからのメッセージも受け取りません。
- アカウントの削除(ウェブブラウザでのみ使用可能) TeamViewer アカウントを永続的に削除する場合は、[Delete account]をクリックしま す。本当にアカウントを削除するかどうかを、もう一度たずねられます。 TeamViewer アカウントを削除すると、マイコンピュータリストも永続的に削除され ます。
- Current password (ウェブブラウザでのみ必要)
 現在のパスワードを入力して、変更を確定してください。

TeamViewerのオプション		×	TeamViewer のアカウント管理で、
全般	"マイコンピュータ"のオプション		追加オプションが提供されます。
セキュリティ	ローカル設定		
リモートコントロール	📝 別のグループのオフラインコンピュータ		
プレゼンテーション	☑ 着信メッセージの通知を受ける		
マイコンピュータ	 	ठ ज्ञ	
音声	アカウント'John Doe'の設定		
動画	ディスプレイタ	John Doe	
力スタム招待	3-16	example-en@example.com	
言羊糸田	新しいパスワード	•••••	
	有効なライセンス 無料	<u>(ライセンスを有効にする)</u>	
	回リスト内のパートナーのみオンラインステ・	ータスを確認したり、メッセージを送信できます	
	アカウントのブロックリスト	設定	
		OK(0) キャンセル(0)	

注記: *[ローカル設定]*セクションで行うすべての設定は、現在使用しているコンピュータ(または、Web Connector のマイコンピュータリスト)にのみ有効です。*[アカウントの設定]*セクションの設定は中央に保存され、TeamViewer アカウントにサインインすると同時にあらゆるコンピュータに適用されます。

注記: このカテゴリのブロックリストは、マイコンピュータリスト内部での機能専用です。 特定のTeamViewer IDからの接続を防止したい場合は、[セキュリティ]カテゴリのブロックリ ストと許可リスト機能を使用してください(<u>IO.2 セキュリティカテゴリ</u>を参照)。



10.6 音声カテゴリ

このカテゴリでは、VoIP 接続の設定を変更したり、VoIP 接続をテストすることができます。

TeamViewerのオプション		×
全般	オーディオ再生とマイクの設	定
セキュリティ	音声再生オプション	
リモートコントロール	スピーカー	標準再生デバイス ▼
プレゼンテーション	音量	===============================
マイコンピュータ		
音声	マイケのオブション	
動画	হন/হ	標準録画デバイス ▼
力スタム招待	マイクレベル	
書羊糸田	普通に話す声でマイクに話しかけで	て、録音レベルをテストしてください
	ノイズ閾値	
		ОК(<u>0</u>) (¥*)セル(<u>c</u>)

詳細は章 <u>8.1 音声伝送</u>に記載されています。



10.7 動画カテゴリ

このカテゴリでは、ウェブカメラを選択したり、その画質や設定をテストすることができます。ビデオドライバの追加設定を行うこともできます。

TeamViewerのオプション		×
全般	録画設定	
セキュリティ	カメラ設定とプレビュー	
リモートコントロール	動画ソース	HP Webcam
ブレゼンテーション		動画ドライバー設定
マイコンピュータ	画質	自動画質選択 ▼
音声		
動画		(Chill
力スタム招待		
言羊糸田		
	L	ОК(Q) (¥*)セル(C)

詳細は章8.2動画伝送に記載されています。



10.8 カスタム招待カテゴリ

[カスタム招待]カテゴリでは、電子メールによってビジネスパートナをリモートコントロー ルセッションやプレゼンテーションに迅速かつ簡単に招待することができます。

- テンプレート
 さまざまなテキストをテンプレートとして提供します。
- 件名
 ここでは、招待メールの件名行を変更することができます。
- 招待メッセージ

ここでは、招待メールのテンプレートテキストを個別に設定できます。[招待のテスト/ボタンを有効にすると、招待メールが電子メールプログラムで生成されます。このアプリケーションから直接、電子メールを送信することができます。[リセット]を クリックすると、デフォルトのメールが保存されます。

TeamViewerのオプション		×
全般	「パートナー招待」メールのテンプレート	
セキュリティ	テンプレート リモート制御の紹介	-
リモートコントロール	件名リモート制御の紹介	
プレゼンテーション	招待メッセージ	
マイコンピュータ	リモートコントロールツールTeamViewer QuickSupportを使用するためには次のソフトウェア	*
音声	@@URL:QS@@	
動画	よろしくお見いします。	
力スタム招待		
詳細		
		Ŧ
	招待のテスト リセット	
	<u>ОК(Q)</u> (≠и)	vtn(c)

[カスタム招待]カテゴリでは、個別に 招待メールを作成することができま す。

注記: テンプレートテキストには、各種のプレースホルダが含まれています。必要に応じて、 常にこれを自分のテキストと置き換えることができます。最終テキストを表示するには、 [招待のテスト]をクリックします。

注記:電子メールによる招待は、電子メールプログラムがコンピュータ上に設定されている 場合にだけ TeamViewer で生成できます。



10.9 詳細カテゴリ

詳細カテゴリでは、TeamViewer で詳細設定を行うことができます。

詳細な全般設定

• 表示言語

TeamViewer で使用される表示言語を選択することができます。その後で、 TeamViewer を再起動する必要があります。

- クイック接続ボタン
 [設定]により、[クイック接続の設定]ダイアログが開きます (10.9.1 [クイック表示の設定]ダイアログ
- ブロックするアカウントのリストを消去
 すべてのブロックするアカウントをI回のクリックで削除します。
- TeamViewer のシャットダウンを無効にする TeamViewer のシャットダウンを防止します。
- この TeamViewer ID のオンラインステータスを非表示にする 有効になっている場合、TeamViewer ID (コンピュータ)はどのマイコンピュータリス トにもオンラインとして表示されません。

信頼できるアカウントからのメッセージを受信 有効になっている場合、TeamViewer 接続を行ったことがあるアカウントからのメッ セージを受け付けるか表示します。

- パートナーがWindowsのログオン画面に接続しているときのフルアクセスコントロ ール([Windowsと同時にTeamViewerを起動]が有効になっている場合にのみ表示され ます。10.1 全般カテゴリを参照してください。)アクセスが[セキュリティ]タブで制約 されている場合(たとえば、[すべての確認])、ログインしているユーザがいない場合 に、このオプションを使用してフルアクセスを許可することができます。このオプ ションにより、たとえば、ユーザまたは管理者が自分のWindowsログインデータでコ ンピュータにログオンした後、制約なしにコンピュータを使用できるようになりま す。
- 強化されたマルチユーザーサポート(ターミナルサーバー向け) すべてのユーザが独立してTeamViewerを使用できるよう、ターミナルサーバーでの 操作時に有効にする必要があります(サーバーだけでなく、すべてのユーザが個別の

TeamViewer IDを受け取ります。2.4 ターミナルサーバーの操作を参照してください)。



ログファイル

- ロギングを有効にする 有効になっている場合、TeamViewerはすべてのエラーおよびイベントをログファイ ルに書き込みます。
- 外部接続ログ

有効になっている場合、TeamViewer はすべての発信接続に関する情報をログファイルに書き込みます。このオプションは、TeamViewer Manager を使用している場合に 有効にする必要があります。

■ 内部接続ログ

有効になっている場合、TeamViewer はすべての着信接続に関する情報をログファイルに書き込みます(プログラムディレクトリの Connections_incoming.txt)。

他のパソコンとの詳細な接続設定

- パートナー入力が無効な場合にブラックスクリーンを有効にする
 パートナーの入力を無効にした場合、リモートコンピュータの画面も無効になります。
- 接続パスワードを一時保存

接続をすぐに再開できるようにするために、セッションパスワードがデフォルトで 一時的に保存されます。TeamViewer がシャットダウンされると、パスワードはそれ 以上保存されません。このオプションにより、パスワードが保存されるのを防止で きます。

- ローカルのコントロールパネルを自動的に最小化する
 コントロールパネルは使用後、自動的に最小化されます。
- このコンピュータではアルファブレンディングは無視する
 半透明のウィンドウは、プレーンウィンドウと同様にブロードキャストになります。

詳細なネットワーク設定:

- ダイレクトインのパフォーマンスの最適化を有効にする このチェックボックスが有効の場合、TeamViewer は UPnP 互換ルータでのポート 80 および 5938 のポート転送を設定することを試みます(TeamViewer ダイレクトイン チェックを参照)。
- TeamViewer ダイレクトインチェック TeamViewer の可用性をチェックするためのダイアログを開きます。ダイレクトイン ポート 8o および 5938 が開いている必要はありません。ただし、開いている場合、 ページ 96 of IOI



TeamViewer はこれらのポートを使用してさらに高速の接続を確立することができます。

- TeamViewerサーバー *[TeamViewerサーバー]*ダイアログを開きます (<u>10.9.2 TeamViewerサーバーダイアログ</u>を参照)。
- VPN ドライバーのインストール [VPN ドライバーのインストール」ボタンを使用して、VPN 接続の確立に必要な VPN ドライバをインストールすることができます。その後もう一度同じボタンを使用し て、VPN ドライバーをアンインストールすることができます。
- モニタードライバのインストール [モニタードライバのインストール]ボタンを使用して、TeamViewerモニタドライバを インストールすることができます。このドライバは、このコンピュータの画面表示 がTeamViewerにより無効になっている場合にブラックスクリーンを保証するために 推奨されます(4.1.2 リモートコントロールウィンドウでの操作を参照)。
- UDP の使用

TeamViewer が、高速 UDP 接続の確立を試みます。この機能は、接続の中断が定期 的に発生する場合にのみ無効にする必要があります。

着信ポート 8o および 443 を使用しない(Web サーバーのみ推奨)
 有効になっている場合、TeamViewer がポート 8o または 443 を占有するのが防止されます。ウェブサーバーなどの他のサービスがこのポートを必要とする場合に有用です。

TeamViewer のオプション

- TeamViewer オプションの変更は管理者権限が必要 すべての TeamViewer オプションを管理者のみが変更できるようにするには、このオ プションを有効にします。
- オプションをパスワードで保護する TeamViewer オプションを保護したい場合に、ユーザ定義のパスワードを入力します。
- パスワードの確認
 以前に入力したパスワードを確認します。
- オプションを*.reg ファイルにエクスポート 選択したカテゴリのオプションを保存先フォルダの*.reg ファイルにエクスポートし ます。

ページ 97 of 101



- オプションを*.reg ファイルからインポート
 保存されたオプションを選択した*.reg ファイルからインポートします。
- TeamViewer ポータブルのエクスポート設定 [エクスポート…]をクリックすると、TeamViewer ポータブルのための設定をエクスポ ートできます。TeamViewer ポータブルの設定をエクスポートする方法についての詳 細は、ダウンロードパッケージで提供されます。

全般	TeamViewerの詳細オプション	ン		
セキュリティ	詳細な全般設定			
リモートコントロール	表示言語	自動選	択	•
プレゼンテーション	クイック接続ボタン		設定	
マイコンピュータ	ブロックするアカウントのリストを消去		消去	
音声	新しいバージョンの確認		毎週	•
動画	各セッションの後に新しいセッションパ	についてある。 ここの一下を作成	切り替えない	•
力入タム招待	■ TeamViewerのシャットタワンを無 このTeamViewer IDのオンラインス	効にする しテータスを非表示にす	5	
詳細	☑ 信頼できるアカウントからのメッセ	ージを受信	-	
	ロダファイル			
	□ ロギングを有効にする			
	 ▼ 外部接続ログ ▼ 内部接続ログ 			
			OK(0)	キャンヤル

詳細設定の下に、すべての詳細オプ ションがあります。

10.9.1 [クイック表示の設定]ダイアログ

このダイアログで、クイック接続ボタンの各設定を変更できます (<u>5.3 QuickConnect を介した接続</u>を参照)。

- [クイック表示]ボタンを表示
 すべてのアプリケーションの[クイック表示]ボタンを有効化/無効化します。
- 特定のアプリケーションに対して無効化
 [クイック接続]ボタンを削除したいアプリケーションのプロセスの名前を追加します。
 この設定を取り消すには、リストからプロセスの名前を削除するだけです。
- クイック接続ボタンの位置を変更
 すべてのアプリケーションの[クイック接続]ボタンの位置を変更します。



● クイック表示の設定
☑ [クイック表示]ボタンを表示
単一アプリケーションの[クイック表示]ボタンを無効にできます。 explorer.exeなどのアプリケーションのプロセス名を入力してください。
)))))
無効なアプリケーション:
chrome.exe devenv.exe mediamonkey.exe msnmsgr.exe opera.exe <u>bsr.exe</u>
く互換性の問題があるため、デフォルト状態では一部のアプリケーションは 無効にされています。こちらはあなたの責任で有効にできます)
[クイック表示]ボタンの位置を変更:
<u>ок</u> *+>>セル

このダイアログは、自分の要件に従って[クイック接 続]ボタンを設定する場合に開きます。

10.9.2 TeamViewerサーバーダイアログ

このダイアログでは、特定のサーバーを定義することができます。

🔁 ホームサーバー	×
リクエストに応じて、特定のTeamViewerサーバーを入っ ください	567
サーバー名: パスワード:	
ОК	-+>UUI

[TeamViewer サーバー]ダイアログで、 固定 TeamViewer サーバーを入力できます。

注意: TeamViewer サポートスタッフから要求のあった場合にだけ、サーバーを入力してくだ さい!



10.10 QuickSupportの設定

*[TeamViewer のオプション]*ウィンドウで、TeamViewer QuickSupport モジュールの設定を定 義することができます。

このダイアログには、TeamViewer QuickSupport 画面の右上隅にあるメツールアイコンを クリックしてアクセスできます。*[全般]*カテゴリでは、以下のオプションが提供されます。

TeamViewer の重要な操作オプション

- ロギングを有効にする 有効になっている場合、TeamViewer QuickSupport がイベントログを書き込みます。 このログは、サポートの場合にエラーを検索するために役に立ちます。
- ログファイルを開く
 ログファイルが保存されているフォルダを開きます。

ネットワーク設定

プロキシ設定...
 <u>IO.I.2 [プロキシ設定]ダイアログ</u>を参照してください。

ディスプレイ名

■ 名前

ここでは、テキストフィールドに自分の表示名を入力します(個別に作成された QuickSupport でのみ選択可能)。

カテゴリ*[音声]*および*[動画]*のオプションについては、 章 <u>8.1.2 音声オプション</u>および <u>8.2.2 動画オプション</u>を参照してください。

		_
全般	よく使うオプション	
音声	TeamViewerの重要な操作オプション	
動画	🔲 ロギングを有効にする	ログファイルを開く
	ネットワーク設定	
	プロキン議定	設定
	バージョン: 6.0.10511 QS	
		OK(0) ***`d7!!(0

[QuickSupport オプション]ダイアログ



10.11 QuickJoinの設定

[*TeamViewer のオプション*]ウィンドウで、TeamViewer QuickJoin モジュールの設定を定義 することができます。設定できるオプションは、QuickSupport の設定オプションに大部分が 対応しています。<u>IO.IO QuickSupport の設定</u>を参照してください。ただし、この場合、ディ スプレイ名はメインウィンドウですでに選択済みです。